

令和3年度

湖南省教育委員会事業評価

湖南省教育委員会

評価報告書

令和3年度

湖南省教育委員会評価委員会

令和3年度 湖南省教育委員会評価委員会の実施について

本委員会では、湖南省教育委員会事業評価について、今日までの評価項目全体を評価するのではなく、毎年度実施する所管課の最終評価を踏まえ、年度当初に所管課が重点的に取り組む事項として掲げた重要項目に対し、委員会として評価を行うこととした。

令和3年度は、別紙に掲げる主要8事業を対象とし、各委員からの意見をもとに、総評および各項目に対する講評を行った。

今後は、本報告書に記載してある評価をもとに令和4年度以降の取組の改善を進められ、さらなる本市の教育の向上を願うものである。

令和4年5月11日

湖南省教育委員会評価委員会

外部評価実施内容

- | | |
|------|-----------------------|
| ①日 時 | 令和3年5月11日（火）午前10時から |
| 場 所 | 湖南省役所西庁舎 3階大会議室 |
| ②日 時 | 令和3年11月1日（月）午前10時から |
| 場 所 | 湖南省役所西庁舎 3階大会議室 |
| ③日 時 | 令和4年5月11日（水）午後1時30分から |
| 場 所 | 湖南省役所西庁舎 3階大会議室 |

評価体制

外部評価委員（評価委員会委員）

- | | |
|---------|--------|
| 横 山 幸 司 | （委員長） |
| 中 村 善 司 | （副委員長） |
| 平 野 龍 雲 | |
| 平 地 幸 美 | |
| 小 島 妙 子 | |

評価対象事業数

8事業（令和3年度最終評価シート57項目の内）

対象事業

- 資料No.1（学校教育課）
 - ・人生100年時代を生き抜く力の育成
- 資料No.24（学校教育課）
 - ・さまざまな今日的教育的課題への対応
- 資料No.26（図書館）
 - ・園・小学校との連携
- 資料No.31（図書館）
 - ・公立図書館の充実
- 資料No.33（生涯学習課）
 - ・湖南省スポーツフェスティバル
- 資料No.38（生涯学習課）
 - ・市美術展
- 資料No.52（教育総務課）
 - ・学校施設の環境整備事業
- 資料No.54（教育総務課）
 - ・学校給食の効率的な運営

【総 評（全体）】

今回、教育委員会事業評価の基となっている第2期湖南省教育振興プランの計画が令和2年度にスタートし、2回目の評価となった。

令和3年度の事業の所管課評価（最終）は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施が困難になっているものを除き、おおむね目標通りの取り組みが行われた。関係各位のご努力、ご尽力に敬意を表するとともに、今後も同プランに基づきながら計画的に執行されたい。

評価シートの設定の仕方については、指標の設定が難しい項目もあるが、まだまだ改善が必要である。成果指標は、この事業は、何をもって成功とするか、何をもって到達点とするかの目標値であり、活動指標は、成果を上げるために行う活動の目標値である。すべての事業に関して数値目標の設定の仕方を統一することも検討されたい。

令和4年度も引き続き、「～学校・家庭・地域が連携し、それぞれが責任を持つ教育の創造～子どもの育つ力を信じ、夢と志を育て未来を拓く「生きる力」の育成」の実現に向けて事業を推進されることを期待し総評とする。

【講評（事業別）】

○資料No.1（学校教育課）

- ・ 人生 100 年時代を生き抜く力の育成

【コメント】

- ・ 生徒の自尊感情が上がるということが最終的な成果指標であるが、「強い肯定的回答が校区ごとの平均で 30%」にどのような意味があるのかの関連がわからない。
アンケートの回数も評価委員会とあわせて 2 回にするのもありかと思われる。
- ・ 指標が中学校区ごとの割合の平均となっているが、それぞれの学区によって内容が違うので、平均を取らなくても、4 学区すべてが 30%を超えるという目標もいいのではないか。
アンケートは 3 回実施されているが、学校にとって負担になっていないか再考されたい。
- ・ アンケートの取り方によって数値も変わってくるので、令和 6 年度に 30% を達成できればいいという根拠もわからない。仲間とともに課題を大切するというのも言葉ではわかるが、個性を持った子どもがいる中でやりすぎると窮屈に思う生徒もいるのでないか。
- ・ 数値目標をおおむね達成できているということばであれば、あとの 7 割に目をつけるのが大切ではないか。
校区に限らず、各学校の取り組みが大切である。各学校の結果を重視しても良かったのではないか。
最も疑問に思うところは、教師や大人たちは自尊感情をどうみているかという点。子どもがどの程度「めざす子どもの姿」をとらえながら、強い肯定的な回答をしているのかというところである。
- ・ 中学校区ごとの割合の平均でなく、各校の平均値のままでいいのではないか。
自尊感情という言葉は漠然としているが、自分の思いを出せることが自尊感情につながっていて大切だと感じた。

○資料No.24（学校教育課）

- ・さまざまな今日的教育的課題への対応

【コメント】

- ・ 連携率は100%を目指すのがあたりまえである。現状の数値設定は全く適切ではないので、例えば、相談件数のように、実態がよくわかる数値を目標にするとわかりやすい。
- ・ 当初から連携率を数値目標とするのは非常に難しいと考えている。大事なものは連携の仕組みや過程を評価することなので、評価シートを変えていく必要があるのではないか。
- ・ 担任の先生が、毎日熱心に長欠の子どもにかかわっていた姿を見ているので、先生方の負担が軽減されるようにスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携をより強化されたい。
- ・ 組織的にとても上手に動いているなど感じ、感謝している。
本当に困っている子どもたちをどのように支援していくかは、数値ではわかりにくいいため、指標について検討されたい。

○資料No.26（図書館）

- ・ 園・小学校との連携

【コメント】

- ・ 14.1冊が高いのか低いかわからない。例えば、類似団体の図書館と比較して高いのか低いのかということをやらないと、この数値がいいのか悪いのかもわからない。
ある目的を達成したいためにこの目標があると考えたときに、園と小学校の連携についてであれば、冊数でいくのか、質でいくのか。どういう本が借りられていて、どういう本が借りられていないのか。どういう年齢層がかりて、どういう年齢層がかりていないのかということであれば、別の指標をあげないといけない。そういったことが今まであまりされていないので、指標が合っていないことも結構ある。
次回作るときには、そういうあたりも考えて指標を設定されたい。

- 指標が貸し出し冊数になっている。個人的には14.1冊というのはすごい数字だと思うが、数字が上がればOKというものでもない。実際はそれぞれの年齢別の傾向や、冊数ごとに分類すると年齢の分布はどうであるかという指標もあるべきではないか。

貸し出し冊数を増やすということは、本を読みたいという思いを向上させることが目的である。移動図書館車を走らせることは手段なので、目的と手段のバランスの評価も考えていくべきである。
- 移動図書館車はいいなという第一印象を持った。

12歳以下が対象なので、小学校であれば学校の図書室との関係はどうなのかと感じた。
- 時節柄、移動図書館車の巡回の回数を増やすことは効果的である。

子どもと本の出会いは、「こうしたからこうなる」というものではなく、ふとしたきっかけで子どもが動いていく部分がある。読書活動が子どもたちの読み解く力や心の育ちに影響していくことを考えると、来館できないときの対応として移動図書館は効果的である。
- 新型コロナウイルスの時代だからこそ図書館が大切である。移動図書館の巡回が増えたことで、冊数が増加しているが、どのような本が読まれているのかということや、年齢別の貸し出し冊数がわかれば、より分かりやすいのではないか。

○資料No.31 (図書館)

- ・公立図書館の充実

【コメント】

- 人口が減っている中で、在校や在勤も登録できるので、人口の減少に影響されないだろうが、新規登録者数1,110人というのは多い。

移動図書館車の巡回を増やしたことによって新規登録者数が増えているということであるが、もっと館で増やされることを期待する。
- 読書活動は、子どもの発達や思考の発達がなされ、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で大切なことであるので、この取組をより推進されたい。

- ・ コロナ禍で、読書をする時間は増えているのではないか。
電子メディアの急速な普及等いろいろな状況に対応できるように進めていくことは、困難な部分もあると思うが、私自身は紙読書の方がこれぞ読書と感じている。
今後、紙媒体と電子媒体のハイブリッドを効果的に進めていく方法について検討されたい。
- ・ 利用者の増加につながるような様々な施策を考えながら、公立図書館の充実に努められたい。

○資料No.33（生涯学習課）

- ・ 湖南省スポーツフェスティバル

【コメント】

- ・ 他のイベントも含めてコロナ禍で中止になるのは、多くの自治体で見られる。コロナが収束した時にはどのように実施するのか、前と同じように実施するのかということは今のうちから検討されたい。スポーツ関係や文化芸術関係の祭典は、どこの自治体でも行き詰ってきてはいるが、文化もスポーツも大切である。やり方や広く市民が参加する方策を考えていかななくては、公共政策としてやっていく意味がない。

○資料No.38（生涯学習課）

- ・ 市美術展

【コメント】

- ・ 出品者の固定化は多くの自治体で見られる傾向になっている。公共事業として行う以上は、市民の文化芸術活動を市としてどのように進展させていくかということに照らし合わせて考えられたい。
出品数のみでは、評価指標として不十分である。
- ・ 会場が商業施設になったため、入場者数が増えると期待していたにもかかわらず、変わっていないのは残念であった。出展者が「見に来てね」とお願いしている人以上に範囲が広がっていないのではないかと感じる。
評価指標が出品数になっているので、このような評価になるが、市の美術展を開催する意義は、市民が作品を鑑賞して、芸術や文化に親しみ、普及振興す

るという大きな目的もあるため、その部分を評価に入れられたい。

- ・ 近隣の市の美術展では、湖南省の人も多く出品されていた。近隣の市のサークルに参加されているのだなと感じた。
- ・ 募集も大切であるが、市民が作品を作って出品してみようと思うための支援が必要である。市民が出品を目標にしたり、友達に声をかけていたりすることが豊かさにつながる。
- ・ まちづくりセンターの文化祭、市の文化祭、美術展ということで、そもそもある程度の方しか出せず制限されているのでこのような結果になる。会場を変えても数値が向上しないのであれば、周知方法等ほかに改善できないか検討されたい。

○資料No.52（教育総務課）

- ・ 学校施設の環境整備事業

【コメント】

- ・ トイレの洋式化が目標通り実施されている。
今後とも計画的に学校施設の環境や施設の整備を進められたい。
- ・ 維持管理にかかる費用についても適切に確保されたい。
- ・ 改修されたトイレを効果的に長く使用できるよう、使用方法や掃除による清潔の維持について指導されたい。

○資料No.54（教育総務課）

- ・ 学校給食の効率的な運営

【コメント】

- ・ 残食率について、どうすれば改善するかということ进行分析し、よりよい指標を設定されたい。
関連して、子ども食堂の問題やフードロスの問題も県の施策として進められているところであり、それらと関連をもたせながら推進することも検討されたい。

- 残食率が非常に高い。栄養士や学校現場がいろいろな取組をしていただいているが、この率がより低くなることを期待する。
- コロナによる欠席の人数も影響すると説明いただいたが、以前からも食材によっては多く残っていることがあった。
栄養士によるパワーポイントで興味を引いて説明していただいているが、家庭での味付けや野菜との出会いも大きいと感じる。小学校に入るところには野菜を見るだけで食べない児童もいる。家庭にも食育教育を実施できたらというように感じた。
- パワーポイントの画像で見える化することにより、「こんなに残っているんだ」ということを子どもたちも実感できたのではないかな。
今、コロナ禍だから家で食べられない方も中にはあるのではないかな。より給食の重要性が増しているのではないかな。

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	1	変化の激しい時代を生き抜く力を育む
施策	1	主体的・対話的で深い学びの充実

2. 具体施策の概要

具体施策	人生100年時代を生き抜く力の育成
内容	学習指導要領や全国学力・学習状況調査の分析結果をふまえ、毎年「湖南省学ぶ力向上策」および「我が校の学ぶ力向上策」を作成し、授業改善や学校・学校集団づくりに取り組みます。また、中学校区ごとに「めざす子どもの姿」を共有し、中学校区連携を重視した学校教育を推進します。課題解決力・コミュニケーション力といった資質・能力の育成に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	各中学校区で設定した「めざす子どもの姿」に関するアンケートで強い肯定的な回答をした児童生徒の割合 ※中学校区ごとにめざす子どもの姿が異なり、それに応じてアンケート項目も異なるため、中学校区ごとに割合を出し、4つの中学校区の割合の平均を目標値にしています。
実績値(平成30年度)	25.0%(中学校区ごとの割合の平均)
実績値(令和2年度)	30.1%(中学校区ごとの割合の平均) 石部:26.8% 甲西:26.3% 甲西北:34.6% 日枝:32.8%
数値目標(令和3年度)	30.0%(中学校区ごとの割合の平均)
実績値(令和3年度)	市全体29.0%(中学校区ごとの割合の平均) 石部:28.8% 甲西:25.5% 甲西北:30.7% 日枝:31.2%
数値目標(令和6年度)	30.0%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	各中学校の設定した「めざす子どもの姿」は以下のとおりです。 石部中学校区「授業では、仲間の考えを聞き、自分の考えを伝えている」32.0% 甲西中学校区「自分の考えと照らし合わせながら、友だちの意見を聞いたり、資料を読んだりしている」27.6% 甲西北中学校区「学習を通して、自分の考えを深めたり、広げたりしている」29.9% 日枝中学校区「授業では、仲間の思いや考えを聞き、自分の思いや考えを話している」38.3% 中学校区ごとの割合の平均は31.9%であり、数値目標は達成していますが、今後、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、対話等を伴う授業実施が難しくなる場合が考えられます。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	今年度、湖南省教育の取組重点の1つとして、中学校区連携をあげています。各中学校区ごとに、毎年目指す子どもの姿を設定し、アンケート項目もそれに従って変更しています。アンケートは年3回実施し、各中学校区ごとに教育委員会にて集計、分析をして、校長会や教頭会にて報告しています。、コロナの感染拡大に伴い、児童生徒の交流時間が減少し、12月末現在の市全体の平均としては、29.0%ですが、概ね目標通りの取組ができました。このアンケート結果をもとに、中学校区ごとの課題を明確にし、重点として改善するよう各校に指導しています。来年度も、中学校区連携を重視し、中学校区ごとに共通の実践を決めて、焦点化して取り組み、子どもたちの自尊感情を高めるとともに、課題解決力やコミュニケーション力をより一層育んでいきます。	A B C D
------------	---	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	1	変化の激しい時代を生き抜く力を育む
施策	2	キャリア教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	キャリア教育の推進
内容	<p>キャリア教育を効果的に展開していくためには、特別活動が学校教育全体で行うキャリア教育の要として位置付け、これからの学びや生き方を見通し、これまでの活動を振り返るなど、自己の将来や社会づくりにつなげていく学習活動を充実させることが重要です。</p> <p>そのために年間計画を見直し、小中学校のつながりが明確になるよう整理します。またその実施にあたっては、職場体験活動や社会人講話などの機会の確保に努めます。さらに職場体験活動などの固定的な活動だけに終わらないよう、地域の方とのふれあいや語り合いを大切に、将来、児童生徒が社会のなかでの自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現させていくための資質・能力を育みます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	キャリア教育の視点からの年間計画の策定
実績値(平成30年度)	0校
実績値(令和2年度)	2校
数値目標(令和3年度)	4校
実績値(令和3年度)	5校
数値目標(令和6年度)	13校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>各校でキャリア教育全体計画を策定しています。この全体計画をもとに年間計画の策定が進められています。</p> <p>キャリアパスポートを活用しながら系統立ててキャリア教育を推進しています。</p>
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>各校で作成したキャリア教育全体計画をもとにキャリアパスポートを活用し、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら取組を行いました。中学生の職場体験学習は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4校全ての中学校で中止し、事業所の方を講師に招くなどの代替の取組を各校で行いました。年間計画を全ての学校で策定できるよう、資料を送ったり、各校で連携したりしながら取組を推進しました。</p>	A B C D
------------	---	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	1	変化の激しい時代を生き抜く力を育む
施策	3	多文化共生教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	外国人児童生徒への学習支援
内容	さくら教室において、来日して間もない子どもに日本語指導や適応指導を行うとともに、必要に応じて教科などの指導を行って外国籍の子どもたちの学習権を保障します。 外国籍の子どもが多い学校に母語ができる人材を派遣したり、翻訳機器を配置することにより、子どもたちや保護者が安心して過ごせる教室環境をつくれます。
具体施策	多文化共生の推進
内容	日本の伝統や文化を理解・継承していこうとする態度を養うとともに、外国の文化や考え方を理解して尊重する態度、異なる文化を持った人々とともに互いを認め合いながら生きていく力を育てます。

3. 数値目標

内容(指標)	外国籍児童生徒支援、保護者対応のための翻訳機器の配置
実績値(令和3年度)	19台
実績値(平成30年度)	0台
実績値(令和2年度)	19台
数値目標(令和3年度)	19台
数値目標(令和6年度)	26台

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	現時点で、9台がSIM交換の必要な時期になっており使用できなくなっていますので、Wi-fi対応をしながら各校1台のSIM交換を行い、家庭訪問など学校外でも対応できるようにしています。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	9台のSIM交換を行った後、4台のSIM交換も行い、各校で児童生徒・保護者支援に活用することができている。通訳の不在の際や、通訳の配置されていないベトナム語などのコミュニケーションの際に重宝し、活用することができている。	A B C D
------------	--	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	1	変化の激しい時代を生き抜く力を育む
施策	4	主権者教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	主権者教育の推進
内容	本市では、政治の仕組みについて必要な知識を学ぶだけでなく、主権者として社会のなかで自立し、他者と連携・協働をしながら、社会を生き抜く力や社会の構成員の一員として主体的に地域課題を解決する力を育てます。また、高校生になってからの主権者教育だけでなく、発達段階に応じて、小学校の段階から主権者教育に取り組みます。

3. 数値目標

内容(指標)	各小・中学校の各教科や特別活動における学びと地域へつなげる取組 (地域行事への参加・参画)
実績値(平成30年度)	13事例
実績値(令和2年度)	13事例
数値目標(令和3年度)	13事例
実績値(令和3年度)	13事例
数値目標(令和6年度)	26事例

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	新型コロナウイルス感染症対策に伴い、地域行事への参加や参画については、3密を避ける観点から、実施の難しい状況が続いています。主権者教育の推進のために、現在、小・中学校では、社会科の公民の領域において、政治について学習しています。また、小学校では、実際に東庁舎を訪れ、議会の仕組みについて学んだり、湖南省のまちづくりに関わって、市役所の仕事について話を聞くことで、社会の一員として、自分にできることは何かを考える学習に取り組んでいます。(3事例)
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	今年度、主権者教育の目的をもう一度教職員で再確認をして、単なる政治の仕組みだけにとどまらず、地域のよさや課題に目を向け、仲間と協力し、関係機関と連携を図りながら、よりよいまちづくりについて考え、貢献できる力を育みました。取組については、今年度も全小中学校から13事例の報告がありました。具体的には、小学校では、地域の一員として、公園やゴミステーションの清掃や落ち葉拾い等のボランティア活動を実施しました。また、中学校では、未来の参政者として意識を高めるために、実際の投票用具を用いて生徒会選挙を行いました。来年度も、コロナ禍ではありますが、議場見学やウツクシマツの保全など、引き続き発達段階に応じた学習を進めていきます。	A B C D
------------	--	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	1	基礎学力の向上

2. 具体施策の概要

具体施策	「自覚して学ぶ」姿の育成
内容	各学校において共通実践「我が校は〇〇(取組内容・方法)で△△(高めようとする力・態度)を学力保障する」に取り組み、真摯に学ぶ機会、一人ひとりに応じた学びの機会を保障します。 コミュニケーション力・論理的思考力・学びに向かう力・人間性などの「非認知能力」育成を重視し、「学び手としての自覚」を育てます。
具体施策	「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現
内容	「湖南省学力向上プロジェクト」において「授業改善(授業の湖南省スタイルの定着化)」、「読書活動」、「家庭学習の充実」を推進するとともに、結果として「子どもの夢と志を育て、『生きる力の根っこ』を太くする」ための土台となる自尊感情の向上に取り組みます。 「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現のために、中学校区連携を進める中で学習方法の連続性や共通実践など保幼小中が連携した効果的な指導方法の工夫改善に努めます。 「学力向上ワーキンググループ」は市内小中学校教員が主体的にメンバーとなり、「授業の湖南省スタイル」、「授業のポイント5」を活かした具体的な授業提案を行い、学力向上委員会のメンバーとともに授業改善の推進役を担います。 また、継続的な朝の読書活動などを通じて読書の習慣化に努めるとともに、学校図書館とその機能、および学校司書を活用した授業を積極的に推進します。
具体施策	語彙の量と言語の質を高める取組
内容	「ことばの宝石箱」や「湖南省の小さな詩人たち事業」の取組を積極的に活用し、語彙を増やし、言葉に対する豊かな感性を磨くよう努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	「授業の湖南省スタイル」による授業実践校数
実績値(平成30年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	「湖南省学ぶ力向上策」を策定したうえで、全ての小中学校において、「我が校の学力向上策」を定め、各校にて取組を進めています。 また、普段から「授業の湖南省スタイル」による授業実践を意識し、職員アンケートでは、6項目中4項目において、年度当初よりも上昇がみられます。しかしながら、「普段の授業で、『読み解く力』の視点を踏まえた授業づくりを行っている」の項目については、現在6項目中一番低い65%であるため、9月以降も、校長会や学校訪問等において、実際の授業の改善策について、指導を行っていく予定です。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	今年度も、市や学校で作成した学ぶ力向上策をもとに、全小学校9校、全中学校4校にて、授業改善に取り組むことができました。12月の職員アンケートでは、「普段の授業で、『読み解く力』の視点を踏まえた授業づくりを行っている」の項目については、74.8%と、9月末より、肯定的な回答が7.9%上昇しました。来年度も、「読み解く力」を意識した校内研究をすすめ、県教委や学力向上アドバイザーの助言を受けながら、全教職員で学習集団づくりを土台とした授業改善をすすめていきます。	A B C D
------------	--	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	1	基礎学力の向上

2. 具体施策の概要

具体施策	「自覚して学ぶ」姿の育成
内容	各学校において共通実践「我が校は○○(取組内容・方法)で△△(高めようとする力・態度)を学力保障する」に取り組み、真摯に学ぶ機会、一人ひとりに応じた学びの機会を保障します。 コミュニケーション力・論理的思考力・学びに向かう力・人間性などの「非認知能力」育成を重視し、「学び手としての自覚」を育てます。
具体施策	「楽しくて力がつく湖南省教育」の実現
内容	「湖南省学力向上プロジェクト」において「授業改善(授業の湖南省スタイルの定着化)」、「読書活動」、「家庭学習の充実」を推進するとともに、結果として「子どもの夢と志を育て、『生きる力の根っこ』を太くする」ための土台となる自尊感情の向上に取り組みます。 「楽しくて力がつく湖南省教育」の実現のために、中学校区連携を進める中で学習方法の連続性や共通実践など保幼小中が連携した効果的な指導方法の工夫改善に努めます。 「学力向上ワーキンググループ」は市内小中学校教員が主体的にメンバーとなり、「授業の湖南省スタイル」、「授業のポイント5」を活かした具体的な授業提案を行い、学力向上委員会のメンバーとともに授業改善の推進役を担います。 また、継続的な朝の読書活動などを通じて読書の習慣化に努めるとともに、学校図書館とその機能、および学校司書を活用した授業を積極的に推進します。
具体施策	語彙の量と言語の質を高める取組
内容	「ことばの宝箱」や「湖南省の小さな詩人たち事業」の取組を積極的に活用し、語彙を増やし、言葉に対する豊かな感性を磨くよう努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	学校図書館を活用した授業実績(年間)
実績値(平成30年度)	小学校801回 中学校187回
実績値(令和2年度)	小学校857回 中学校279回
数値目標(令和3年度)	通常学級数×8回 通常学級数×5回
実績値(令和3年度)	小学校997回 中学校358回
数値目標(令和6年度)	通常学級数×8回 通常学級数×5回

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	全ての小中学校で「学校図書館の機能を活用した授業」が実施されています。授業での学校司書が果たす役割については、各校で授業者と図書活用の相談会の実施等により、計画的に授業へ参画することができています。また、研修会ではブックトーク等の授業支援の在り方を学び合ったり、学校司書間で情報交換をしたりすることを通して専門性を高めています。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	小学校 通常学級数 104 $104 \times 8 = 832$ 目標値 832回 令和3年度の小学校における学校図書館を活用した授業実績 997回 中学校 通常学級数 42 $42 \times 5 = 210$ 目標値 210回 令和3年度の中学校における学校図書館を活用した授業実績 358回	(A) B C D
	学校司書が図書館教育主任や担任の教諭と連携し、積極的に授業に参画できました。またブックトークなど専門性を生かした授業支援を行うことができました。	

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	1	基礎学力の向上

2. 具体施策の概要

具体施策	「自覚して学ぶ」姿の育成
内容	各学校において共通実践「我が校は〇〇(取組内容・方法)で△△(高めようとする力・態度)を学力保障する」に取り組み、真摯に学ぶ機会、一人ひとりに応じた学びの機会を保障します。 コミュニケーション力・論理的思考力・学びに向かう力・人間性などの「非認知能力」育成を重視し、「学び手としての自覚」を育てます。
具体施策	「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現
内容	「湖南省学力向上プロジェクト」において「授業改善(授業の湖南省スタイルの定着化)」、「読書活動」、「家庭学習の充実」を推進するとともに、結果として「子どもの夢と志を育て、『生きる力の根っこ』を太くする」ための土台となる自尊感情の向上に取り組みます。 「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現のために、中学校区連携を進める中で学習方法の連続性や共通実践など保幼小中が連携した効果的な指導方法の工夫改善に努めます。 「学力向上ワーキンググループ」は市内小中学校教員が主体的にメンバーとなり、「授業の湖南省スタイル」、「授業のポイント5」を活かした具体的な授業提案を行い、学力向上委員会のメンバーとともに授業改善の推進役を担います。 また、継続的な朝の読書活動などを通じて読書の習慣化に努めるとともに、学校図書館とその機能、および学校司書を活用した授業を積極的に推進します。
具体施策	語彙の量と言語の質を高める取組
内容	「ことばの宝石箱」や「湖南省の小さな詩人たち事業」の取組を積極的に活用し、語彙を増やし、言葉に対する豊かな感性を磨くよう努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	「ことばの宝石箱」を活用した暗唱などに取り組んだ学校数
実績値(平成30年度)	全小学校9校
実績値(令和2年度)	全小学校9校
数値目標(令和3年度)	全小学校9校
実績値(令和3年度)	全小学校9校
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>校長会や国語主任会で「ことばの宝石箱」を活用して、暗唱や音読などへの取組の意識を高められるよう話をしました。また、暗唱を達成した子どもに「こころの賞状」を渡して表彰することで、子どもが意欲的に取り組めるよう、各学校長に「こころの賞状」を配付し活用を呼びかけています。</p> <p>現在、全小学校が取組をしている。内容としては、暗唱、音読、詩・俳句づくり等が多く、効果や成果としては、詩を暗唱できる児童が増えたり、音読が上手にできるようになりました。また、繰り返し暗唱などに取り組むことで、語彙を豊かにすることができました。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>市内全小学校9校で「ことばの宝石箱」の活用ができました。暗唱での取組が9校中5校、音読での取組が9校中6校、詩や俳句づくりでの取組が9校中6校、その他書写の学習等でも活用している学校があります。</p> <p>次年度、継続した取組で成果を上げている学校について、国語主任会や校長会で取り上げていきたいです。</p>	<p>Ⓐ B C D</p>
------------	--	----------------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	1	基礎学力の向上

2. 具体施策の概要

具体施策	「自覚して学ぶ」姿の育成
内容	各学校において共通実践「我が校は〇〇(取組内容・方法)で△△(高めようとする力・態度)を学力保障する」に取り組み、真摯に学ぶ機会、一人ひとりに応じた学びの機会を保障します。 コミュニケーション力・論理的思考力・学びに向かう力・人間性などの「非認知能力」育成を重視し、「学び手としての自覚」を育てます。
具体施策	「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現
内容	「湖南省学力向上プロジェクト」において「授業改善(授業の湖南省スタイルの定着化)」、「読書活動」、「家庭学習の充実」を推進するとともに、結果として「子どもの夢と志を育て、『生きる力の根っこ』を太くする」ための土台となる自尊感情の向上に取り組みます。 「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現のために、中学校区連携を進める中で学習方法の連続性や共通実践など保幼小中が連携した効果的な指導方法の工夫改善に努めます。 「学力向上ワーキンググループ」は市内小中学校教員が主体的にメンバーとなり、「授業の湖南省スタイル」、「授業のポイント5」を活かした具体的な授業提案を行い、学力向上委員会のメンバーとともに授業改善の推進役を担います。 また、継続的な朝の読書活動などを通じて読書の習慣化に努めるとともに、学校図書館とその機能、および学校司書を活用した授業を積極的に推進します。
具体施策	語彙の量と言語の質を高める取組
内容	「ことばの宝石箱」や「湖南省の小さな詩人たち事業」の取組を積極的に活用し、語彙を増やし、言葉に対する豊かな感性を磨くよう努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	「湖南省の小さな詩人たち事業」の作品作りに取り組んだ学校数
実績値(平成30年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	「湖南省の小さな詩人たち事業」では、現在各校で作品づくりに取り組んでいます。11月18日に二次審査会、11月30日に最終審査会を予定しています。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	市内全小中学校13校で取り組みました。日頃の学習を生かし、詩や五・七・五部門に応募する作品づくりを行うことで表現力を鍛えることができました。 選者である野呂先生から「清新でユニークな作品が生まれ嬉しく思う」と講評をいただきました。	A B C D
------------	--	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	2	育ちと学びをつなぐ教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	園・小学校との連携
内容	子ども一人ひとりの健康や成長、発達の過程などを就学前の小学校との間で共有し、幼児期から就学期における子どもの育ちの連続性を確保することで、さらなる連携を図ります。また、入学した児童が、幼児期の教育における遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、学びに向かうことが可能となるようするためのスタートカリキュラムの充実を図ります。
具体施策	小・中学校の連携
内容	各中学校区で授業参観や連絡会などの開催、出前授業や合同授業などを通して、情報交換や交流を行い、子どもの連続した育ちと学びを支援できるよう、さらなる連携を図ります。

3. 数値目標

内容(指標)	小・中学校における相互授業参観・授業研究
実績値(平成30年度)	8回
実績値(令和2年度)	5回
数値目標(令和3年度)	8回
実績値(令和3年度)	9回
数値目標(令和6年度)	12回

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、相互授業参観・授業研究を例年通り行うことは難しい状況です。その中で、6月には「学力向上アドバイザー学校訪問兼学びの礎ネットワーク推進事業」において、各中学校区の小中学校で相互参観の機会をもつことができました。</p> <p>幼児期から就学期へのスムーズな移行につなげるため、「学びに向かう力推進事業」として三雲小学校と平松こども園による合同研修会を8月に行い、11月の授業研究に向けて園から小学校へのスムーズな移行に関し連携した取組を実施しています。</p> <p>ことばの教室の園訪問、就学支援に係る園訪問等を実施し、園児の観察や支援についての助言を行うなど、連携を図りました。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、相互授業参観・授業研究を予定通り実施することは難しい中、人数制限や会の持ち方を工夫し、各中学校区ごとの校区連携や授業参観を行う機会を9回もつことができました。</p> <p>三雲小学校と平松こども園の幼小連携の取組発表は、市内校園からも多数参観いただき、接続期カリキュラムの参考となりました。各校園で取組を取り入れていくことができるように、次年度に繋げていきます。</p>	(A) B C D
------------	---	-----------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	3	家庭学習支援システムの構築

2. 具体施策の概要

具体施策	家庭学習支援システムの構築
内容	子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることがないよう、国よりも先取的な「湖南省発達支援システム」を参考に、教育委員会部局・市長部局・関係機関が有機的に関連しあう、「湖南省家庭学習支援システム」を構築し推進します。 教育委員会が「家庭学習支援システム」の窓口として対象者を把握し、子どもたちの家庭学習支援に積極的に関わります。

3. 数値目標

内容(指標)	らくらく勉強会の実施
実績値(平成30年度)	未実施
実績値(令和2年度)	全小学校6校 全中学校4校
数値目標(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和3年度)	全小学校7校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	現在、小学校6校、中学校4校で実施しています。開始時期については、4月：小学校1校、6月：小学校4校、中学校3校、7月：小学校1校、中学校1校です。その他の3校の小学校については、新型コロナウイルス感染症対策や校内体制が整い次第実施予定です。 なお、8月末までの実施回数は、延べ134回、参加人数は延べ2500名です。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	今年度の実績としては、市内小学校7校、中学校4校で実施をしました。残りの小学校2校のうち、1校は、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、実施できませんでした。もう1校は、児童館と連携して他の学習会を実施しました。今年度の実施回数は、2月末現在で、延べ438回、参加人数は、延べ6892回で、昨年度より実施校を増やすことができました。来年度も、児童生徒や保護者のニーズに応じて、市内全小中学校でらくらく勉強会が実施できるように準備を進め、家庭学習の習慣化に取り組めます。	A B C D
------------	--	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	3	豊かな心を育む
施策	1	道徳力を身につけた子どもの育成

2. 具体施策の概要

具体施策	考え、対話し、議論する道徳の推進
内容	<p>「心きりり☆こなんっ子」を合い言葉に「心ひらく(授業づくり)」、「心ひろがる(啓発活動)」、「心ひびきあう(地域連携)」の3つの柱を軸として、子どもたちの自尊感情を育む取組を進めていきます。「心ひらく」では、「授業の湖南省スタイル」を示し、道徳の時間の授業改善を進めます。また、「心ひろがる」では、校内掲示板や学校だよりで取組を発信するなど、家庭と連携した取組を進めます。「心ひびきあう」では、地域の人々に学校に来ていただくだけでなく、子どもが地域の行事に参画する取組を行うことで、道徳的実践力を培う場を保障します。</p> <p>また、子どもと地域とのつながりを図ります。</p> <p>平成26年度に刊行した「伝えたい故郷の話～教育・郷土資料集～」をはじめ、湖南省を思い、力を尽くして下さった「人」や「こと」を紹介した本・資料を授業で活用することで、人や地域を大切に思うあたたかい心や生き方を学びます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	文部科学省「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」の受託(年2校)
実績値(平成30年度)	受託
実績値(令和2年度)	受託
数値目標(令和3年度)	受託
実績値(令和3年度)	受託
数値目標(令和6年度)	— 令和3年度で一旦、文部科学省「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」の受託(年2校)を終了予定

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>推進校を中心に、道徳の時間の授業改善を進め、取組を市内全体に発信できるように進めています。また、新型コロナウイルス感染症の状況もあってまだ開催を見合わせていた「こころの教育推進協議会」を11月中旬に開催し、地域代表者や学識経験者の意見も取り入れながら、市内の道徳教育を推進します。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>推進校における道徳教育の取組について、教育だよりやホームページに載せる等して市内に広めることができました。また推進校では、郷土資料集を活用した道徳の授業づくりに取り組み、地域に尽力した偉人の業績について考えることを通して、ふるさと意識の醸成を図ることができました。</p> <p>新型コロナウイルスの感染防止に伴い1回のみの実施となりましたが、今年度は市の「こころの教育推進協議会」を開催し、地域代表者や学識経験者の意見も取り入れながら、市内の道徳教育を推進できました。</p>	<p style="text-align: center;">(B) C D</p>
------------	--	--

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	3	豊かな心を育む
施策	2	多様性を認め合う教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	湖南省人権教育ネット推進事業の推進
内容	一人ひとりの子どもを中心とした、就学前から高校卒業までの連携した取組のなかで、人権を大切にする子どもを育成するとともに、学校、園、家庭、地域、関係機関が連携した取組を通じて、進路保障の実現をめざします。 また女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人、性的マイノリティ※などの人権に関わる課題の解決に向け、命と人権を大切にする教育を推進します。
具体施策	湖南省学校・園人権教育基底プランの実施
内容	人権教育基底プランに基づく保育・授業の実践を通して、発達段階に応じた系統的な人権保育・教育に取り組みます。 また、基底プラン改訂委員会を組織し、現状の人権課題に沿った人権保育・教育を行えるよう、基底プランの見直し・改訂を行います。

3. 数値目標

内容(指標)	中学校区ごとの主任など連絡会議の開催回数
実績値(平成30年度)	各9回
実績値(令和2年度)	各6回
数値目標(令和3年度)	各6回
実績値(令和3年度)	各6回
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	上半期において各学区3回開催しました。(うち1回は紙上での会議) コロナ禍にあって開催が難しい中ですが、メール等のやり取りで事業の進捗状況等を確認しています。 なお、人権教育基底プランの計画期間は今年度までですが、今年度策定される市人権総合計画の策定を待って、来年度改訂する予定です。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	各学区6回開催した(紙上での会議を含む)。紙上での会議の際も電話やメール等のやり取りで各校園所の取組を推進できた。来年度も会議開催にとらわれず取組や連携の推進を進めていきたい。また、人権教育基底プランは、来年度改訂する予定です。	A (B) C D
------------	--	-----------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	3	豊かな心を育む
施策	2	多様性を認め合う教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	湖南省人権教育ネット推進事業の推進	
内容	一人ひとりの子どもを中心とした、就学前から高校卒業までの連携した取組のなかで、人権を大切にする子どもを育成するとともに、学校、園、家庭、地域、関係機関が連携した取組を通じて、進路保障の実現をめざします。 また女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人、性的マイノリティ※などの人権に関わる課題の解決に向け、命と人権を大切にする教育を推進します。	
具体施策	湖南省学校・園人権教育基底プランの実施	
内容	人権教育基底プランに基づく保育・授業の実践を通して、発達段階に応じた系統的な人権保育・教育に取り組みます。 また、基底プラン改訂委員会を組織し、現状の人権課題に沿った人権保育・教育を行えるよう、基底プランの見直し・改訂を行います。	

3. 数値目標

内容(指標)	人権教育基底プランに基づく保育・授業研究会の実施
実績値(平成30年度)	公立保育園・こども園 2年に1回 各校 年1回
実績値(令和2年度)	全ての小中学校と公立こども園1園、県立学校2校が実施
数値目標(令和3年度)	全ての小中学校と公立こども園1園、県立学校2校が実施
実績値(令和3年度)	全ての小中学校と公立こども園1園、県立学校2校が実施
数値目標(令和6年度)	公立保育園・こども園 4年に1回 各校 年1回

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	公立保育園1園実施済み。コロナ禍の中で他校からの参観人数を制限していますが、各校開催を予定しています。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	全ての小中学校と公立こども園1園、県立学校2校が実施した。少人数であるが他校からの参観者とともに校園内での研究協議が深まり、教職員の人権意識の向上につながった。	A B C D
------------	--	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	3	豊かな心を育む
施策	3	読書活動の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づく読書活動の推進
内容	<p>子どもが読書意欲を高め、読書習慣を身につけることができるよう、乳幼児から発達段階に応じて読書の楽しさを実感できるようにするとともに、いつでも本に親しむことができる読書環境の充実に向けて、子どもと本をつなぐ大人への啓発や人材育成、子どもが本や物語に出会う機会の提供や本を活用した学びの機会の充実といったさまざまな取組を、関係機関が連携し市民の協力を得ながら、令和2年3月に改定された「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づき、計画的・組織的に推進します。</p> <p>図書館では、子どもの成長に資する児童図書収集と提供を行いながら、おはなし会や人形劇、ブックトークなど、本に親しむ機会づくりに努めるとともに、幼児向けの読み聞かせ用図書の貸出を行います。また、母子保健担当部局と連携して、ブックスタート事業※を支援するとともに、乳幼児健診などの機会を活用した幼児期からの「はじめての本」との出会い、親子のふれあい、図書館の児童奉仕活動への誘引、啓発などを進めます。また、子どもの読書活動を推進する司書のスキルアップを図ります。</p> <p>学校図書館では、研究的に取り組んできた成果をふまえながら、学校司書および学校図書館支援センターの役割を明確にし、子どもたちの読書活動を一層推進します。また、学習センター・情報センターとしての機能のさらなる充実を進めます。</p> <p>読み聞かせや蔵書整理など、学校司書の資質向上を図るための研修機会を確保していきます。さらに、学校全体で読書活動が推進できるよう、管理職および司書教諭を核とする充実した図書館教育を授業において進めます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	学校図書館の児童生徒一人あたりの年間貸出冊数
実績値(平成30年度)	小学校 30.5冊 中学校 5.1冊
実績値(令和2年度)	小学校 38.6冊 中学校 5.2冊
数値目標(令和3年度)	小学校 31.0冊 中学校 6.0冊
実績値(令和3年度)	小学校 48.8冊 中学校 6.0冊
数値目標(令和6年度)	小学校 31.0冊 中学校 6.0冊

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	図書室利用について、コロナ対応で利用を制限したり本の貸出冊数を減らしたりしている学校があり、図書室を利用する児童生徒が減っている現状があります。密を避ける工夫を施して、図書室を活用し、読書推進していけるように引き続き各校に呼びかけていきます。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>学校図書館の児童生徒一人あたりの年間貸出冊数が小学校は48.8冊で前年度より10.2冊増えました。(前年度38.6冊)</p> <p>中学校は6.0冊で前年度より0.8冊増えました。(前年度5.2冊)</p>	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D
------------	---	--

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課・図書館・学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	3	豊かな心を育む
施策	3	読書活動の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づく読書活動の推進
内容	<p>子どもが読書意欲を高め、読書習慣を身につけることができるよう、乳幼児から発達段階に応じて読書の楽しさを実感できるようにするとともに、いつでも本に親しむことができる読書環境の充実に向けて、子どもと本をつなぐ大人への啓発や人材育成、子どもが本や物語に出会う機会の提供や本を活用した学びの機会の充実といったさまざまな取組を、関係機関が連携し市民の協力を得ながら、令和2年3月に改定された「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づき、計画的・組織的に推進します。</p> <p>図書館では、子どもの成長に資する児童図書の収集と提供を行いながら、本に親しむ機会づくりに努めるとともに、幼児向けの読み聞かせ用図書の貸出を行います。また、母子保健担当部局と連携して、ブックスタート事業※を実施するとともに、幼児期からの「はじめての本」との出会い、親子のふれあい、図書館の児童奉仕活動への誘引、啓発などを進めます。また、子どもの読書活動を推進する司書のスキルアップを図ります。</p> <p>学校図書館では、研究的に取り組んできた成果をふまえながら、学校司書および学校図書館支援センターの役割を明確にし、子どもたちの読書活動を一層推進します。また、学習センター・情報センターとしての機能のさらなる充実を進めます。</p> <p>読み聞かせや蔵書整理など、学校司書の資質向上を図るための研修機会を確保していきます。さらに、学校全体で読書活動が推進できるよう、管理職および司書教諭を核とする充実した図書館教育を授業において進めます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	市立図書館の児童図書の12才以下の子ども一人あたりの年間貸出冊数
実績値(平成30年度)	11.7冊
実績値(令和2年度)	13.1冊
数値目標(令和3年度)	14.1冊
実績値(令和3年度)	16.1冊
数値目標(令和6年度)	16.1冊

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>8.7冊(令和3年4月～9月の実績)</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策実施下、図書館への来館利用を制限していたこともあり、年齢に関係なく資料の貸出数は減少しています。昨年度より、非来館型サービス実施を進めるという方向から移動図書館車による保育園、こども園、幼稚園への巡回を増やしており、その成果として、昨年度比、貸出冊数の1冊増を目標数値として掲げ、子どもの読書推進を図ります。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>新型コロナウイルス感染症対策実施下、図書館への来館利用を制限していたこともあり、対策実施前に比べて、年齢に関係なく資料の貸出数は減少していますが、昨年度よりは増加し、想定値を上回りました。非来館型サービス実施を進めるという方向から移動図書館車による保育園、こども園、幼稚園への巡回を増やした成果が出たと考えられます。今後も、ブックスタート事業やお話会の開催等は困難な状況が続くことが考えられますが、園を通した、子どもの読書推進策を図ります。</p>	A B C D
------------	---	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課・図書館・学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	3	12
施策	3	読書活動の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づく読書活動の推進
内容	<p>子どもが読書意欲を高め、読書習慣を身につけることができるよう、乳幼児から発達段階に応じて読書の楽しさを実感できるようにするとともに、いつでも本に親しむことができる読書環境の充実に向けて、子どもと本をつなぐ大人への啓発や人材育成、子どもが本や物語に出会う機会の提供や本を活用した学びの機会の充実といったさまざまな取組を、関係機関が連携し市民の協力を得ながら、令和2年3月に改定された「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づき、計画的・組織的に推進します。</p> <p>図書館では、子どもの成長に資する児童図書の収集と提供を行いながら、本に親しむ機会づくりに努めるとともに、幼児向けの読み聞かせ用図書の貸出を行います。また、母子保健担当部局と連携して、ブックスタート事業※を実施するとともに、幼児期からの「はじめての本」との出会い、親子のふれあい、図書館の児童奉仕活動への誘引、啓発などを進めます。また、子どもの読書活動を推進する司書のスキルアップを図ります。</p> <p>学校図書館では、研究的に取り組んできた成果をふまえながら、学校司書および学校図書館支援センターの役割を明確にし、子どもたちの読書活動を一層推進します。また、学習センター・情報センターとしての機能のさらなる充実を進めます。</p> <p>読み聞かせや蔵書整理など、学校司書の資質向上を図るための研修機会を確保していきます。さらに、学校全体で読書活動が推進できるよう、管理職および司書教諭を核とする充実した図書館教育を授業において進めます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	おはなし会などの年間開催数
実績値(平成30年度)	72回
実績値(令和2年度)	6回
数値目標(令和3年度)	6回
実績値(令和3年度)	4回
数値目標(令和6年度)	75回

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>2回(4.5月は実施するも、参加申込はなし。6.7月は参加申込があり実施。8.9月は開催を中止。) 新型コロナウイルス感染症対策実施下、図書館サービスを一部制限し、集會行事を休止していた時期があり、また、実施期においても、甲西図書館のみで、職員が、月1回、予約制による開催とし、ボランティアグループが実施を見合わせたことから開催回数は激減しています。今年度後半についても、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながらの実施となります。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>4.510~1月は実施するも、参加申込はなく、6.7、2.3月は参加申込があり実施しました。8.9月は開催を中止しました。 新型コロナウイルス感染症対策実施下、図書館サービスを一部制限し、集會行事を休止していた時期があり、また、実施期においても、甲西図書館のみで、職員が、月1回、予約制による開催とし、ボランティアグループが実施を見合わせたことから開催回数は激減しています。</p>	A B <input checked="" type="radio"/> D
------------	---	--

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	4	健やかな体を育む
施策	1	健康教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	立腰の取組
内容	心身の健康の保持増進を図るために、立腰の必要な知識を習得し、健康・安全を適切に自主管理する態度を育てます。子どもの時期から規則正しい生活を身につけることにより、病気から身体を守り、心身ともに健康な体を養うとともに、学級のあらゆる場面で「立腰」の指導に取り組みます。

3. 数値目標

内容(指標)	授業や部活動などの活動時間を通して立腰指導を行う実施校数
実績値(平成30年度)	0校
実績値(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>今年度は、「立腰」を健康教育に位置付けて取り組みを推進しました。足の裏を床につけて、しっかり背筋を伸ばして座るよう心がけることで、生涯を通して健康に過ごせる丈夫な体づくりとともに、集中力を持続させて学習にも好影響を与える効果を期待しています。</p> <p>教室内に「立腰」のイラストを掲示し、また、授業の中でも教員が児童生徒に対して姿勢についてタイミングよく注意喚起しながら児童生徒の集中力を持続させる工夫をしている場面も増えてきました。</p> <p>教育委員会として「授業の湖南省スタイル0」(座る姿勢、書く姿勢、鉛筆の持ち方)の意識付けを担当個人の指導力の差とすることなく、学校全体の取組に広げていこう引き続き各校へ指導・支援していきます。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>今年度も、「立腰」を健康教育に位置付けて取り組みを推進しました。足の裏を床につけて、しっかり背筋を伸ばして座るよう心がけることで、生涯を通して健康に過ごせる丈夫な体づくりとともに、集中力を持続させて学習にも好影響を与える効果を期待しています。</p> <p>教室内に「立腰」のイラストを掲示し、授業の中でも教員が児童生徒に対して姿勢についてタイミングよく注意喚起しながら児童生徒の集中力を持続させる工夫をしている教室がある一方で、「立腰」について十分に児童生徒に意識付けが十分でない教室も少なからず見受けられた。教育委員会として「授業の湖南省スタイル0」(座る姿勢、書く姿勢、鉛筆の持ち方)の意識付けを担当個人の指導力の差とすることなく、学校全体の取組に広げていこう各校へ指導・支援していきます。</p>	A (B) C D
------------	---	-----------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	生涯学習課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	4	健やかな体を育む
施策	2	子どもの体力向上への取組

2. 具体施策の概要

具体施策	学校体育の充実
内容	学方向上プロジェクトにおいて体育科の授業についても授業改善を行います。「授業のポイント5」、「授業の湖南省スタイル」を活用し、子どもが主体となる授業を展開します。 また、始業前・中休み・昼休み・放課後・下校後など、教科外の時間において継続して運動遊びを行うことにより、子どもたちに運動遊びの習慣を身につけさせ、体力の向上を図ります。 子どもを運動好きにすることをめざして、小学校における「健やかタイム」を推奨するなど、運動やスポーツを楽しむ、心身ともに健康な子どもの育成に努めます。
具体施策	子どものスポーツ機会の充実
内容	子どもの体力低下や運動・スポーツをする機会が減少する中、幼児期の運動においては遊びを通じて楽しみながら様々な筋肉や神経を使って体を動かすことが、その後の青年期における運動能力に良い影響を与えます。幼児期の運動や遊びを体験できる機会を充実させる取組に努めるとともに、生涯における豊かなスポーツライフを実現するため地域、スポーツ団体と連携し、健康づくりに努めます。 また、湖南省市ちよいスポクラブでは、複数の種目のスポーツが体験できる地域のスポーツクラブとして、子どもの運動離れの解消に大きな役割を果たしており、継続して加入促進に取り組めます。

3. 数値目標

内容(指標)	小学生の一週間の運動スポーツ実施時間が420分以上の割合(授業を除く)
実績値(平成30年度)	男子51.6% 女子26.9%
実績値(令和2年度)	令和元年度結果:男子48.9%、女子30.7%。令和2年度結果は次年度(令和4年度)に発表され ます。
数値目標(令和3年度)	男子49.0% 女子31.0%
実績値(令和3年度)	男子45.9% 女子26.1%
数値目標(令和6年度)	男子53.2% 女子28.8%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	コロナ禍におけるスポーツ少年団や地域総合型スポーツクラブ等の活動については、十分な警戒を行い、感染症対策には万全を期して行っています。緊急事態宣言により大会の中止や練習等、活動が制限されスポーツをする機会は限られていますが、各団体等と連携し、感染防止に配慮しながら活動を行っていきます。事業参加者の増加を図るため、広報こなんへやKONAN Sportsへの団員・会員募集記事の掲載を行っています。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	スポーツ少年団、地域総合型スポーツクラブ等については、一部活動を自粛されたものもあるがしっかりと対策をとった中で日常的な活動はできました。総合型地域スポーツクラブについては、区配布や広報こなんへの掲載等会員募集の取り組みを進めることができました。	A B C D
------------	---	----------------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	4	健やかな体を育む
施策	3	学校保健の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	学校における保健衛生の充実
内容	<p>子どもの生活習慣の改善、向上を図るためには、正しい知識や望ましい生活リズムを身につけさせることが必要であり、家庭や地域と連携した取組を進めます。</p> <p>また、アレルギー疾患、喫煙、薬物乱用などに関する課題や、いじめ・不登校などのメンタルヘルスの課題に対応するため、関係各課との連携を図り、保健衛生の充実を図ります。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	ブラッシング指導による歯磨きの習慣化とともに、小中学生へのフッ化物洗口の取組
実績値(平成30年度)	0校
実績値(令和2年度)	0校(フッ化物洗口の実施)
数値目標(令和3年度)	0校(フッ化物洗口の実施)
実績値(令和3年度)	0校(フッ化物洗口の実施)
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>令和2年度の予定は、5月頃から開始することになっていました。しかし、新型コロナウイルス感染症にかかる対応で、飛沫を避けるためにはフッ化物洗口を実施することは難しいと判断しました。このため、今年度中の実施開始を見送ることとしました。</p>
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>令和3年度については、新型コロナウイルス感染症にかかる対応で、飛沫を避けるためにはフッ化物洗口を実施することは無理であると判断しました。今後も、各学校と十分に協議しながら、その実施について検討していきます。</p>	A B <input checked="" type="radio"/> D
------------	--	--

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	4	健やかな体を育む
施策	4	食育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	学校における食育の推進
内容	<p>望ましい食習慣の形成には幼少期からの規則正しい食生活が重要です。しかしライフスタイルの多様化により、家庭だけで望ましい食習慣を身につけることは困難となっています。</p> <p>家庭の次に多くの時間を過ごす保育園、幼稚園、認定こども園、小中学校での食育を充実させ、家庭・地域との連携を図りながら、地産地消を取り入れた給食の提供や偏食の減少などの推進に力を入れ、望ましい食習慣の形成を支援していきます。</p> <p>また、教材を用いた食育指導や栄養教諭・学校栄養士・調理師などによる食育授業を充実させ、児童生徒が給食の献立作成をする体験や食について学ぶ機会を増やしていきます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	毎日朝食を食べる児童生徒の割合
実績値(平成30年度)	小学校5年83.5% 中学校2年84.8%
実績値(令和2年度)	小学校5年83.4% 中学校2年72.3%
数値目標(令和3年度)	小学校5年84.4% 中学校2年73.3%
実績値(令和3年度)	小学校82.3% 中学校77.8%
数値目標(令和6年度)	小学校5年86% 中学校2年86%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>各校で日々の食指導や、「保健だより」等による保護者啓発を行っています。朝食摂取状況調査(6月)では、毎日朝食を食べる児童生徒の割合が、小学校5年では、昨年度83.4%でしたが、今年度は82.3%と1.1%減少しました。しかし、中学校2年では、昨年度72.3%でしたが、今年度77.8%と5.5%増加しました。</p> <p>減少率の高い小学校、増加率の高い中学校に要因について確認を行いました。摂取率は家庭的な背景が影響することが多いため、園・学校と家庭が連携を図りながら望ましい食習慣の形成を支援していきます。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>コロナ禍ではありましたが、給食センターと連携しながら教材を用いた食育指導や栄養教諭・学校栄養士・調理師などによる食育授業を行い、児童生徒が食について学ぶ機会を積極的に設けたり、文書等を通して保護者に食についての啓発を行うことができました。</p>	A B C D
------------	--	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	4	健やかな体を育む
施策	4	食育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	学校における食育の推進
内容	<p>望ましい食習慣の形成には幼少期からの規則正しい食生活が重要です。しかしライフスタイルの多様化により、家庭だけで望ましい食習慣を身につけることは困難となっています。</p> <p>家庭の次に多くの時間を過ごす保育園、幼稚園、認定こども園、小中学校での食育を充実させ、家庭・地域との連携を図りながら、地産地消を取り入れた給食の提供や偏食の減少などの推進に力を入れ、望ましい食習慣の形成を支援していきます。</p> <p>また、教材を用いた食育指導や栄養教諭・学校栄養士・調理師などによる食育授業を充実させ、児童生徒が給食の献立作成をする体験や食について学ぶ機会を増やしていきます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	ふれあい食育教室の実施
実績値(平成30年度)	9校
実績値(令和2年度)	0校(新型コロナウイルス感染症対策のため、ふれあい食育教室中止)
数値目標(令和3年度)	0校
実績値(令和3年度)	9校
数値目標(令和6年度)	13校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市健康推進委員を講師に招いての調理実習は今年度は全市的に中止することになりました。</p> <p>栄養教諭による食に関する指導は、市内小学校1・3・6年を対象に計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1年については中止しました。3・6年については、2学期に実施します。</p>
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>栄養教諭による食に関する指導について、1年生は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、栄養教諭が直接学校に行って授業をするのではなく、教材を送って各校で実施をしました。3年生、6年生については感染症対策を行いながら、9校全てで予定通り実施することができました。</p>	<p>A B C D</p>
------------	---	----------------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	5	一人ひとりが大切にされる教育・支援
施策	1	特別支援教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	インクルーシブ教育を実現するための特別支援教育体制整備
内容	合理的配慮の決定・合意形成のためにアセスメントの充実を図り、インクルーシブ教育システムの構築に向けて基礎的環境の整備に努めます。巡回相談を活用し、個に応じた適切な就学支援を進めるとともに、巡回相談担当者会議や湖南省専門家チーム会議※で、より専門的な立場からの検討や医療的な助言を得られるようにします。 子どもたち一人ひとりの特性や障がいの状況・程度などを的確にとらえた「個別の指導計画」を作成し、その能力を最大限に伸ばすよう努めます。 また、「湖南省発達支援システム」を活用しながら関係機関と連携し、子どもが自立し社会参加できる力を一層高めます。 保護者・本人との合意形成を図りながら合理的配慮を提供できるよう、保護者への個別の指導計画の提供を行い、活用を図ります。 子どもの教育的ニーズに最も応えられる学びの場を検討する、就学支援委員会の取組を継続して行います。また、通常の学級・特別支援学級における支援のあり方を視点とする授業改善を推進し、一人ひとりの学力の向上に努めます。
具体施策	湖南省ことばの教室の運営
内容	各中学校区に「ことばの教室」を設置しており、アセスメントに基づいた個別の指導を実施します。 また、一人ひとりの教育的ニーズを受け止めることができるよう、各中学校区に設置されている通級指導教室においても、通級指導と相談支援の充実を図ります。 湖南省発達支援ITネットワークを活用し、指導記録を蓄積するとともに、園・学校訪問による、関係機関と校園との連携強化に努めます。加えて、市内の保育・教育関係者を対象として研修会を開催し、市内全体の特別支援教育の質の向上を図ります。 市内小学1、2年生に読み書きチェックを実施し、その結果や支援についての情報を各小学校に提供することで、読み書きの力を高める取組を進めます。

3. 数値目標

内容(指標)	通級指導教室通級生の「個別の教育支援計画(新様式)」作成率
実績値(平成30年度)	令和2年度より実施
実績値(令和2年度)	通級指導教室通級生(小学校6年生)の「個別の教育支援計画(新様式)」作成率100%
数値目標(令和3年度)	通級指導教室通級生(小学校6年生と今年度通級終了予定児童・生徒)の「個別の教育支援計画(新様式)」作成率100%
実績値(令和3年度)	通級指導教室通級生(小学校6年生と今年度通級終了予定児童・生徒)の「個別の教育支援計画(新様式)」作成率100%
数値目標(令和6年度)	100.0%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。

※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。

(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	巡回相談担当者会議や専門家チーム会議を感染対策を取りながら実施し、ケース検討等を行いました。専門性を生かした助言を学校にフィードバックすることが特別支援教育の推進につながりました。 ことばの教室通級生(小学校6年生と今年度通級終了予定の児童・生徒)の教育支援計画作成について、校長会やことばの教室連絡会において依頼・説明し、作成に向けての準備を進めました。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	巡回相談担当者会議や専門家チーム会議だけでなく、週1回のことばの教室定例会では個別のケースについての検討を行い、アセスメントや有効な支援等をより専門的な意見を取り入れて進めました。 今年度は、ことばの教室通級生のうち小学6年生と中学3年生、今年度で通級を終了する児童・生徒については全員の個別の教育支援計画(中3は支援移行計画)を作成しました。次年度は全学年分の作成を計画しています。	A B C D
------------	---	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	5	一人ひとりが大切にされる教育・支援
施策	2	児童生徒への支援・相談体制の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	いじめの未然防止・早期発見・早期対応	
内容	<p>「湖南省いじめ問題対策連絡協議会等条例」および「湖南省いじめ防止対策基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組みます。</p> <p>いじめや命の大切さについて考える取組「湖南省いじめをなくそうサミット※」は、保護者の参加を得て充実してきています。各校で児童生徒が主体となった特色ある活動を展開することにより、一人ひとりが「いじめはいけない」と認識し、進んで行動しようとする決意をもった児童生徒を育てます。</p> <p>また、自尊感情の向上のために「地域の行事への積極的な参加」を呼びかけ、地域とともに子どもを育てる取組を進めていきます。今後は、各学校で子どもたち自身が命の大切さを自覚し、青春祭(あおはるさい)※などの場を活用したり地域にも発信したりすることを通して、いじめをなくすための行動を起こせるよう取組を工夫します。</p>	
具体施策	さまざまな今日的教育課題への対応	
内容	<p>不登校数の減少に向けた取組として、市の巡回相談システムなどを利用し、迅速かつ丁寧な対応をしています。ケースによっては「ふれあい教育相談室」での指導を依頼し、教室復帰に向けた取組を行っています。</p>	

3. 数値目標

内容(指標)	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置
実績値(平成30年度)	小学校6校 全中学校4校
実績値(令和2年度)	スクールソーシャルワーカー 小学校9校 中学校4校 スクールカウンセラー 小学校9校 中学校4校
数値目標(令和3年度)	スクールソーシャルワーカー 小学校9校 中学校4校 スクールカウンセラー 小学校9校 中学校4校
実績値(令和3年度)	スクールソーシャルワーカー 小学校9校 中学校4校 スクールカウンセラー 小学校9校 中学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「いじめをなくそうサミット」は中止となりましたが、各学校でいじめや命の大切さについて考える取組を進めています。</p> <p>いじめと不登校、虐待やヤングケアラーの課題等、実態に応じて関係する機関が連携し、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが核となって、個に応じたケアを進めています。</p> <p>各小中学校にスクールソーシャルワーカーが配置されていますが、時間数が十分でなくタイムリーに関わることができない課題もあります。</p> <p>市費スクールソーシャルワーカーは、小中学校10校を担当、県費スクールソーシャルワーカーは、小中学校3校を担当しています。</p> <p>9月末現在、市費スクールソーシャルワーカーは、今年度予算措置時間数712時間のうち339.5時間(47.7%)活動、県費スクールソーシャルワーカーは、今年度予算措置時間数684時間のうち338時間(49.4%)活動しています。</p> <p>活動内容は、保護者面談、児童生徒本人面談、教員との情報共有・助言指導、関係機関との連携、校内研修会講師、ケース会議等です。</p>
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>今年度、スクールソーシャルワーカーおよびスクールカウンセラーを全小中学校に配置しました。</p> <p>不登校の課題について、それぞれのケースに応じた関係機関(巡回相談、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、発達支援室、家庭児童相談室、子ども家庭総合センター等)との連携に重点を置いた取組を進めました。</p>	A B C D
------------	--	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	5	一人ひとりが大切にされる教育・支援
施策	2	児童生徒への支援・相談体制の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	いじめの未然防止・早期発見・早期対応
内容	「湖南省いじめ問題対策連絡協議会等条例」および「湖南省いじめ防止対策基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組みます。 いじめや命の大切さについて考える取組「湖南省いじめをなくそうサミット※」は、保護者の参加を得て充実してきています。各校で児童生徒が主体となった特色ある活動を展開することにより、一人ひとりが「いじめはいけない」と認識し、進んで行動しようとする決意をもった児童生徒を育てます。 また、自尊感情の向上のために「地域の行事への積極的な参加」を呼びかけ、地域とともに子どもを育てる取組を進めていきます。今後は、各学校で子どもたち自身が命の大切さを自覚し、青春祭(あおはるさい)※などの場を活用したり地域にも発信したりすることを通して、いじめをなくすための行動を起こせるよう取組を工夫します。
具体施策	さまざまな今日的教育課題への対応
内容	不登校数の減少に向けた取組として、市の巡回相談システムなどを利用し、迅速かつ丁寧な対応をしています。ケースによっては「ふれあい教育相談室」での指導を依頼し、教室復帰に向けた取組を行っています。

3. 数値目標

内容(指標)	不登校児童生徒の関係機関との連携率
実績値(平成30年度)	小学校65.3% 中学校83.4%
実績値(令和2年度)	小学校90.0% 中学校85.2%
数値目標(令和3年度)	小学校90.0% 中学校88.0%
実績値(令和3年度)	小学校90.6% 中学校77.8%
数値目標(令和6年度)	小・中学校85%以上

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

4. 進捗状況(9月30日現在)

実施内容(進捗実績)	増加傾向の不登校児童・生徒について、巡回相談とスクールソーシャルワーカーが連携し、情報を共有することでより適切なアセスメントをしています。また、ふれあい教育相談室の通級や相談業務、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの派遣を継続して行い、個に応じたケアを進めました。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	今年度の不登校児童・生徒の関係機関との連携率は中学校77.8%、小学校90.6%でした(1, 2月に連続して7日以上欠席した児童生徒のうち、関係機関等と連携して支援している事例の率)。新型コロナウイルスによる不安から欠席しているケースへの取組が遅れがちです。 毎月、不登校ネット会議兼巡回相談担当者会議において、各ケースについての支援状況について確認し、関係機関が連携した取組を進めています。	A B <input checked="" type="radio"/> C D
------------	---	--

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	6	就学前教育の充実
施策	1	一人ひとりの育ちに応じた幼児教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	園・小学校との連携(再掲)
内容	子ども一人ひとりの健康や成長、発達の過程などを就学先の小学校との間で共有し、幼児期から就学期における子どもの育ちの連続性を確保していき、さらなる連携を図ります。また、入学した児童が、幼児期の教育における遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、学びに向かうことが可能となるようにするためのスタートカリキュラムの充実を図ります。
具体施策	乳幼児向け図書の実施
内容	図書館ではそれぞれの年齢の児童に向けた幅広い分野の資料を収集、整理、提供しています。また、母子保健担当部局が行っているブックスタート事業に協力し、4か月児健診時に保護者に対して本の大切さを伝えるとともに、誰もが本に触れることができる環境づくりに努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	保幼小連携教育研修会の参加者数
実績値(平成30年度)	0人
実績値(令和2年度)	0人(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた保幼小連携教育研修会は開催なし)
数値目標(令和3年度)	0人(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催予定なし)
実績値(令和3年度)	0人(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止)
数値目標(令和6年度)	26人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>幼児期から就学期へのスムーズな移行につなげるため、ことばの教室の園訪問、就学支援に係る園訪問等を実施し、園児の観察や支援についての助言を行っています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保幼小連携教育研修会は実施できていません。</p> <p>幼児期から就学期へのスムーズな移行につなげるため、学びに向かう力推進事業として三雲小学校と平松こども園による合同研修会を8月に行い、11月の授業研究に向けて園から小学校へのスムーズな移行に関する連携した取組を実施しています。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>ことばの教室、発達支援室、学校教育課とともに各小学校の校長、特別支援コーディネーターも就学支援に関わる園訪問等を実施し、園児の様子を十分理解したうえで就学の場や支援についての検討を行っています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた保幼小中連携教育研修会は中止となりましたが、多くの参加申し込みがありました。</p> <p>学びに向かう力推進事業として三雲小学校と平松こども園によるスタートカリキュラムの充実に向けての取組を行いました。11月の授業研究には市内外の校園が取組を参観することで幼小接続の具体的な方策の研修の機会となりました。</p>	A B C D
------------	---	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 図書館

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	6	就学前教育の充実
施策	1	一人ひとりの育ちに応じた幼児教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	園・小学校との連携(再掲)
内容	子ども一人ひとりの健康や成長、発達の過程などを就学先の小学校との間で共有し、幼児期から就学期における子どもの育ちの連続性を確保していき、さらなる連携を図ります。また、入学した児童が、幼児期の教育における遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、学びに向かうことが可能となるようにするためのスタートカリキュラムの充実を図ります。
具体施策	乳幼児向け図書の実施
内容	図書館ではそれぞれの年齢の児童に向けた幅広い分野の資料を収集、整理、提供しています。また、母子保健担当部局と協力の元、ブックスタート事業を実施し、4か月児健診のタイミングで保護者に対して本の大切さを伝えるとともに、誰もが本に触れることができる環境づくりに努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	乳幼児向け絵本コーナーの設置
実績値(平成30年度)	2館に「はじめてであう絵本」コーナーの設置
実績値(令和2年度)	継続
数値目標(令和3年度)	継続
実績値(令和3年度)	継続
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	新型コロナウイルス感染症対策下、ブックスタート事業の実施が困難となったため、今年度は、別途図書館で本の手渡し、保護者への説明を行っています。図書館サービスの制約がある中ではありますが、関係課と連携しながら、できる範囲でサービスを実施していきます。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	新型コロナウイルス感染症対策下、ブックスタート事業の実施が困難となったため、今年度は、別途図書館で本の手渡し、保護者への説明を行っています。令和4年度はブックスタート事業が図書館へ移管されることとなり、図書館サービスの制約がある中ではありますが、できる範囲でサービスを実施していきます。	A B C D
------------	---	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	7	学校・家庭・地域の連携と協力により教育力を高める
施策	1	地域と共に歩む学校づくりの推進

2. 具体施策の概要

具体施策	地域と共に歩む学校づくり
内容	本市では、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部を導入し、両者の運動性と違いを明確に周知や融合を図りながら、家庭・地域の人々との協働と参画による学校づくりを進めています。 今後も、学校・家庭・地域が一体となって学校運営協議会(理事会)の設置の推進や子ども育ての課題の共有化を図ります。 また、新学習指導要領に示された「地域に開かれた教育課程」の実現に向けて、地域との連携・協働を推進します。

3. 数値目標

内容(指標)	学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の充実による地域住民・保護者の学校教育への参画
実績値(平成30年度)	小学校7校 中学校3校
実績値(令和2年度)	市内全小中学校に設置(9小学校・4中学校)
数値目標(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校に設置完了
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	学校運営協議会については全国的には30%程度の設置状況の中、本市ではこの4月より全校設置となりました。各校には地域住民・保護者代表委員として各学校運営協議会に6~14名の委員が任命されています。今後は協議会が適切に運営されるよう、管理と情報提供、助言が必要であり、市教委からも行政委員として各学校運営協議会に1名の委員がその任についています。 各学校運営協議会は年間4~5回の協議会の開催と、そのねらいに応じた部会等の活動を計画しており、予定通り実施しています。(コロナ禍のため時期により一部書面開催となった協議会がありました)
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	公立学校の学校運営協議会は全国的には最新数値で33.3%の設置状況であります。この中であって、湖南省内の小中学校においては今年度より100%の設置が完了しました。 各運営協議会は、年間4~5回の学校運営協議会を開催し、熱心な熟議を通して学校評価を行い、それを基に校長に意見具申をしました。また、2校からは市教委にも意見書が提出され、協議会の機能が発揮されています。 今後はさらに多様な地域人材の参画を得て、地域の今後を担う地域と協働した学校づくりの一層の推進を目指します。	Ⓐ B C D
------------	--	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	7	学校・家庭・地域の連携と協力により教育力を高める
施策	1	地域と共に歩む学校づくりの推進

2. 具体施策の概要

具体施策	地域と共に歩む学校づくり
内容	本市では、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部を導入し、両者の運動性と違いを明確に周知や融合を図りながら、家庭・地域の人々との協働と参画による学校づくりを進めています。 今後も、学校・家庭・地域が一体となって学校運営協議会(理事会)の設置の推進や子ども育ての課題の共有化を図ります。 また、新学習指導要領に示された「地域に開かれた教育課程」の実現に向けて、地域との連携・協働を推進します。

3. 数値目標

内容(指標)	地域学校協働本部事業の取り組み
実績値(平成30年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和3年度)	継続
実績値(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	国、県補助事業である「地域学校協働活動推進事業」において市内全小中学校に総数27名の地域コーディネーターを配置し、地域と学校との協働による教育力の向上を図っています。地域からは学校への教育支援活動が年々充実してきており、また学校の児童生徒たちが地域活動に参加・参画していくことで地域の活性化にも貢献することも期待されています。しかし、昨年度・今年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため学校の教育活動、また地域行事にも大きな制限が出ていることから実施された活動の範囲内のものとなっています。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	全国的には公立学校での地域学校協働本部の設置状況は最新値で54.7%である中、市内全小中学校に設置されています。 国・県補助事業である「地域と学校の連携と協働体制構築事業」を受け、地域の支援による学習支援・体験活動を中心とした「地域学校協働活動推進事業」や家庭教育支援を通して子どもの学校生活を見守る「地域における家庭教育支援基盤構築事業」を概ね計画通り実施することができました。 これらの事業の推進を担う、地域コーディネーター27名をはじめ、各事業コーディネーター総40名(延べ数)は地域住民に委嘱しています。 コロナ禍にあり、活動制限はあったもののほぼ100%の実施状況です。	A B C D
------------	---	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	7	学校・家庭・地域の連携と協力により教育力を高める
施策	2	自立・協働・創造力を持つ子どもの育成

2. 具体施策の概要

具体施策	体験的活動の推進
内容	豊かな人間性、自ら学び・自ら考える力といった生きる力を育むため、「地域とのつながり」をキーワードにした多様な体験活動を展開します。コミュニティ・スクールや地域学校協働本部の協力を得ながら、関係団体とも連携し、内容が濃く・質の高い体験活動の実施に努めます。また、各学校における体験活動のさらなる円滑な実施に向け、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部への支援を行います。

3. 数値目標

内容(指標)	—
実績値(平成30年度)	—
実績値(令和2年度)	—
数値目標(令和3年度)	
実績値(令和3年度)	
数値目標(令和6年度)	—

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)		A B C D
------------	--	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育総務課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	7	学校・家庭・地域の連携と協力により教育力を高める
施策	3	地域や地元企業との連携促進

2. 具体施策の概要

具体施策	企業などの社会貢献活動の促進と学校教育環境の充実の好循環
内容	企業・事業所や団体による寄付行為などの学校応援の輪を拡大するとともに、学校教育環境のさらなる充実と企業・事業所や団体の社会貢献活動の推進の好循環を図るため、「学校教育きらめきサポーター事業」の取組を継続して推進します。

3. 数値目標

内容(指標)	学校教育きらめきサポーター事業認証事業所数
実績値(平成30年度)	3事業所
実績値(令和2年度)	2事業所
数値目標(令和3年度)	2事業所
実績値(令和3年度)	3事業所
数値目標(令和6年度)	5事業所

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	対象となる寄附(1件あたり10万円以上)の実績は2件ありましたが、学校教育きらめきサポーターの申請は1事業所にとどまっています。地域や地元企業との連携促進に向けて、寄附の申し出のたびにPRしています。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	事業の趣旨にある「湖南省の学校教育環境のさらなる充実と企業・事業所や団体の社会貢献活動の推進の好循環を図る」ため、「湖南省学校教育きらめきサポーター事業認証申請書」及び「企業等概要書」を企業等に提出いただくことを廃止し、教育長が認証基準を満たすと認める場合は認証を行うことができるようにするとともに、認証の対象を団体に限定せず個人にも広げるため、要綱の一部改正を行いました。 3件(2事業所)を認証しました。	A B C D
------------	---	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課・図書館

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	1	多様な学習機会の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	地域に密着した学習機会の提供と人材の育成
内容	地域の課題解決や多様化する市民ニーズに応じた学習機会の充実と情報提供に努めるとともに、生涯学習の推進を図るため、地域にある身近な場所で主体的に学習活動が行えるよう、学びの場づくりを支援します。また、地域の文化や学びの成果を活かして、市民が体系的に学び、力を発揮できる場や仕組みの検討、市民参画の場の充実と社会教育団体の育成支援に努めます。
具体施策	公立図書館の充実
内容	図書館がその機能を果たすためには、新鮮で魅力的な資料があること、資料を知り、資料と市民とを結ぶ職員がいることが大切です。市民のニーズを把握し、両図書館および移動図書館で、蔵書の充実を図ります。施設内では、だれもが快適に利用できる環境を整えるとともに、社会の変化に対応したサービスの実施に取り組めます。また、利用案内チラシやホームページを活用することで、図書館を利用していない人へのアプローチも図ります。図書館に来館することが難しい市民に対しては平成30年11月に開設した電子図書館によって資料提供を図ります。また、地域資料のデジタル・アーカイブ化に向けて環境を整えます。市民の生涯学習推進の拠点施設として、展示や講座、講演会などの集會行事を実施し、文化情報の発信をめざします。地域との協働においては、展示・講演などの活動発表の機会の提供に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	図書館の年間新規利用登録者数
実績値(平成30年度)	793人
実績値(令和2年度)	1008人
数値目標(令和3年度)	900人
実績値(令和3年度)	1,110人
数値目標(令和6年度)	893人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	670人(令和3年4月～9月の新規登録者数) 新型コロナウイルス感染症対策実施下、図書館への来館利用を制限していたこともあり、図書館への来館による利用は減少しています。昨年度より、非来館型サービス実施を進めるという方向から移動図書館車による巡回を増やしており、新たな利用の開拓に努めています。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	新型コロナウイルス感染症対策実施下、図書館への来館利用を制限していたこともあり、実施前に比べると図書館への来館による利用は減少していますが、昨年度よりは増加しています。この状況下で想定を上回る結果を出すことができたのは、非来館型サービス実施を進めるという方向から移動図書館車による巡回を増やしたことが大きいと考えられます。新たに開拓した利用者の利用定着に努めていきます。	A B C D
------------	---	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	2	健康スポーツと生涯スポーツの推進

2. 具体施策の概要

具体施策	ライフステージに応じた体と心を癒すスポーツ機会の充実
内容	自らがいつでもリラックスして行えるスポーツの推進や、障がいのある人や外国籍の人も気軽に参加できるイベントの提供、さらにはだれもがスポーツボランティアとして参画できる環境など、スポーツに携わるさまざまな機会づくりを推進します。 また、親子や仲間でも気軽に参加できるスポーツ機会の充実や、女性指導者の育成、あるいは初めて参加する人にもできるスポーツの提供を推進するなど、積極的なスポーツ情報の発信に努めます。
具体施策	いつでも、どこでも、だれでも親しむことができるスポーツ環境の充実
内容	地域や各種スポーツ団体、近隣の大学などの高度な人材やスポーツに関する幅広い知識の活用、各種スポーツ団体からの情報提供など、さまざまな資源を最大限に活かし、連携・協働して地域スポーツの活性化に取り組めます。 また、令和7年(2025年)の滋賀国民スポーツ大会や全国障害者スポーツ大会も視野に入れ、指導者の育成や一貫教育体制、大学などと連携した現役アスリートからの指導によるジュニア・アスリートの育成を推進します。 施設面では、安全でだれもが利用しやすい社会体育施設の環境整備をめざし、効率的な利用促進や計画的な施設改修に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	成人の週1回以上のスポーツ実施率(湖南省市民の運動・スポーツ活動と地域生活に関する実態調査による)
実績値(平成30年度)	39.90%
実績値(令和2年度)	調査実施は、次回スポーツ推進計画改定時の予定です。
数値目標(令和3年度)	今年度は湖南省市民の運動・スポーツ活動と地域生活に関する実態調査を実施しない
実績値(令和3年度)	今年度実施対象年ではないため、実績値なし
数値目標(令和6年度)	42.5%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	月に2回体育館を開放し、申込不要で体育館が利用でき、自由にスポーツを楽しんでいただくKONANスポーツデーを開催していますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、昨年度から事業が中止となっています。市民のみなさんに健康に関心を持っていただき、コロナ過でも3密を回避しながらできる取り組みを行うため、スポーツ推進委員のスキルアップ研修を行い、市内の感染状況を見ながら、実施できる日程と事業内容を摸索していきます。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	スポーツ推進委員のスキルアップ研修については5回実施しました。コロナ禍で実施できる手法を各委員が意見を出し合い、KONANスポーツデー実施に向けて協議していきます。	A B <input checked="" type="radio"/> C D
------------	--	--

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	2	健康スポーツと生涯スポーツの推進

2. 具体施策の概要

具体施策	ライフステージに応じた体と心を癒すスポーツ機会の充実
内容	自らがいつでもリラックスして行えるスポーツの推進や、障がいのある人や外国籍の人も気軽に参加できるイベントの提供、さらにはだれもがスポーツボランティアとして参画できる環境など、スポーツに携わるさまざまな機会づくりを推進します。 また、親子や仲間が気軽に参加できるスポーツ機会の充実や、女性指導者の育成、あるいは初めて参加する人にもできるスポーツの提供を推進するなど、積極的なスポーツ情報の発信に努めます。
具体施策	いつでも、どこでも、だれでも親しむことができるスポーツ環境の充実
内容	地域や各種スポーツ団体、近隣の大学などの高度な人材やスポーツに関する幅広い知識の活用、各種スポーツ団体からの情報提供など、さまざまな資源を最大限に活かし、連携・協働して地域スポーツの活性化に取り組めます。 また、令和7年(2025年)の滋賀国民スポーツ大会や全国障害者スポーツ大会も視野に入れ、指導者の育成や一貫教育体制、大学などと連携した現役アスリートからの指導によるジュニア・アスリートの育成を推進します。 施設面では、安全でだれもが利用しやすい社会体育施設の環境整備をめざし、効率的な利用促進や計画的な施設改修に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	湖南省スポーツフェスティバルの参加人数
実績値(平成30年度)	888人
実績値(令和2年度)	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は事業が中止となりました。
数値目標(令和3年度)	中止 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
実績値(令和3年度)	中止のため実績値なし
数値目標(令和6年度)	1,000人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	新型コロナウイルス感染対策により2年連続の中止となりましたが、来年度の実施に向けて内容を検討する必要があります。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	3密の回避・消毒対策を踏まえながら従来とは異なった態勢での開催を検討していきます。健康志向を重視した取組も検討していきます。	A B C D
------------	--	----------------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	3	地域の歴史文化の保存と活用

2. 具体施策の概要

具体施策	歴史文化と地域文化の保存と活用
内容	市内の有形無形の文化財を次世代に継承していくため、保存と活用に関する基本的な方針を定めるとともに、関係機関と連携し、文化財などの保存・活用方法について検討する体制づくりに取り組みます。また市民が地域の歴史や文化を学び、親しむ機会の充実に努めます。魅力ある郷土の歴史や伝統文化を広く発信するとともに、これらの記された図書や資料の収集に努め、図書館などにおいて、保存・提供を行います。

3. 数値目標

内容(指標)	歴史・文化財教室、講座などの参加人数
実績値(平成30年度)	244人
実績値(令和2年度)	新型コロナウイルス感染対策により、講座の実施を取りやめましたが、農林保全課主催の全国植樹祭関連事業におけるウツクシマツの歴史を学ぶ教室に協力しました。
数値目標(令和3年度)	70人(20人×2回+30人×1回) 文化財講座については、新型コロナウイルス感染症対策を万全にする必要があり少人数での開催にするため、増加は見込めません。
実績値(令和3年度)	滋賀県文化財講座 8人 湖南省文化財講座 27人
数値目標(令和6年度)	250人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	当初、滋賀県の文化財講座(3回:7月14日・8月26日・9月16日)のサテライト会場を設置する予定でした。 7月14日にサテライト会場を設置し、6名の参加者がありました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月26日は10月11日に、9月16日は11月11日に延期されましたが、10月11日はメイン会場(県設置)のみとなったため、サテライト開催はできませんでした。11月11日は、サテライト会場を設置予定です。 また、11月20日に市の文化財講座を開催します。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	新型コロナウイルス感染症拡大が続き、滋賀県文化財講座のサテライト会場は7月14日、11月11日の開催となりました。それぞれ、6名、2名の参加がありました。 湖南省文化財講座については、11月20日と1月29日に開催し、それぞれ、17名、10名の参加がありました。	A B C D
------------	--	----------------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	3	地域の歴史文化の保存と活用

2. 具体施策の概要

具体施策	歴史文化と地域文化の保存と活用
内容	市内の有形無形の文化財を次世代に継承していくため、保存と活用に関する基本的な方針を定めるとともに、関係機関と連携し、文化財などの保存・活用方法について検討する体制づくりに取り組みます。また市民が地域の歴史や文化を学び、親しむ機会の充実に努めます。魅力ある郷土の歴史や伝統文化を広く発信するとともに、これらの記された図書や資料の収集に努め、図書館などにおいて、保存・提供を行います。

3. 数値目標

内容(指標)	東海道石部宿歴史民俗資料館の入場者数
実績値(平成30年度)	1,200人
実績値(令和2年度)	670人
数値目標(令和3年度)	700人
実績値(令和3年度)	784人(2月末現在)
数値目標(令和6年度)	1,300人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	滋賀県に緊急事態宣言が発令されたことから、8月27日から9月末まで資料館の入館を休止しました。今後は、小学校の見学受け入れと11月6日から12月26日まで特集展示をする予定です。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	資料館の入館者数は2月末現在で784人で目標数を上回ることができました。市内の小学校の見学受け入れを実施しました。また、市内中学校の生徒や市内住の中学生が総合学習の一環で学習に来るのを受け入れました。資料館では特集展示を3回実施しました。来年度も継続して小学校の見学や中学生の学習を受け入れし、特集展示についても実施します。	A (B) C D
------------	--	-----------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	4	新たな市民文化が育つ環境の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	市民との協働、市民への支援による文化の振興
内容	市民との協働や、市民主体の文化芸術事業の継続開催と内容の充実を図るとともに、市民による文化芸術を支援し、発表や参加の機会の拡充に努めます。 また、文化振興につながる情報提供に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	文化振興条例の策定
実績値(平成30年度)	未策定
実績値(令和2年度)	滋賀県の文化公演支援事業(県内文化施設で公演をする者に県が施設使用料の1/2を補助する事業)に参加しました。
数値目標(令和3年度)	今年度は策定の予定なし
実績値(令和3年度)	未策定
数値目標(令和6年度)	策定

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	滋賀県の文化公演支援事業(県内の文化施設で公演をする者に施設使用料の1/2を補助する事業)に参加しています。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	市民主体の文化芸術事業としては、文化祭および美術展の実施をしました。それぞれの参加者数は文化祭が300人で、美術展が954人になります。市民の発表の場の機会として文化祭および美術展を継続します。 文化振興条例については、他市町の状況も見ながら方向性を検討していきます。	A (B) C D
------------	---	-----------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	4	新たな市民文化が育つ環境の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	市民との協働、市民への支援による文化の振興
内容	市民との協働や、市民主体の文化芸術事業の継続開催と内容の充実を図るとともに、市民による文化芸術を支援し、発表や参加の機会の拡充に努めます。 また、文化振興につながる情報提供に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	市文化祭への出品数・出演者数
実績値(平成30年度)	450点・445人
実績値(令和2年度)	開催中止
数値目標(令和3年度)	90点・200人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、プログラムを縮小しています。
実績値(令和3年度)	55点・151人
数値目標(令和6年度)	460点・450人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	当初は10月30日(土)と31日(日)に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から31日(日)のみとし、市民の芸術文化の発表や参加機会の提供のため、開催に向けて準備を進めています。 現在、公演の部18団体と展示の部3団体が参加予定で、ホールは客席を半分にするなど、感染対策を講じて開催を予定しています。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	10月31日(日)の1日に第18回湖南省文化祭を開催しました。公演の部は16団体で151人、展示の部は3団体で55点が出演・出品されました。入場者および参加者数は合計で300名でした。	A B <input checked="" type="radio"/> C D
------------	--	--

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	4	新たな市民文化が育つ環境の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	市民との協働、市民への支援による文化の振興
内容	市民との協働や、市民主体の文化芸術事業の継続開催と内容の充実を図るとともに、市民による文化芸術を支援し、発表や参加の機会の拡充に努めます。 また、文化振興につながる情報提供に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	市美術展への出品数
実績値(平成30年度)	281点
実績値(令和2年度)	一般出品数167点、特別出品19点の合計186点
数値目標(令和3年度)	一般出品数181点、特別出品19点の合計200点
実績値(令和3年度)	一般出品数166点、特別出品20点の合計186点
数値目標(令和6年度)	290点

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	9月に実行委員会の予定をしていますが、緊急事態宣言の発令・延長に伴い、10月に文書開催で行う予定です。また、11月には市広報・市HP・チラシの配布により出品募集を行い、美術展は2月15日から21日の期間で開催する予定です。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	出品点数は、一般出品数166点、特別出品20点の合計186点で、昨年度の186点と同数となり、目標値には及びませんでした。コロナ禍で開催が危ぶまれましたが、会場を変えて昨年度と同内容の開催ができました。 今年度は、これまでの開催地だった市民学習交流センターが新型コロナワクチン大規模接種会場として利用されたため、平和堂甲西中央店で2月21日(月)から27日(日)の期間で開催しました。入場者数は954人を数え、前年度の950人から微増となりました。	A B C D
------------	---	----------------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	5	人権意識の向上

2. 具体施策の概要

具体施策	関係団体との連携・協働による市民への啓発活動の推進	
内容	市民一人ひとりが人権問題を正しく理解し、自分自身の課題としてとらえ、人権尊重の精神を日常生活に活かせるよう、さまざまな場で人権について考える機会を設けます。また各種団体と連携し、人権尊重の精神にあふれたまちづくりを進めます。	

3. 数値目標

内容(指標)	出会い・気づき・発見講座や保護者講座の参加者のアンケートで「大変良かった」、「良かった」と回答した人の割合
実績値(平成30年度)	88.00%
実績値(令和2年度)	87.80%
数値目標(令和3年度)	88.5%
実績値(令和3年度)	98.7%
数値目標(令和6年度)	90.0%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>コロナウイルス感染症拡大防止のため保護者講座は中止しました。今年度は、広く市民を対象とした出会い・気づき・発見講座は行っておりませんが、地域のリーダーに向けたより専門的な内容の豊かなつながり創造講座を7回予定しています。直接会場に来て受講していただく従来の開催方法に加え、オンラインでも受講できるように工夫をし、第1回の9月8日は緊急事態宣言下であったため、オンラインのみで開催しました。参加者は44名で、アンケート提出は16名。「大変良かった」、「良かった」と回答した人数は16名、割合は100%となっています。今後は、より正確な割合をだすためにアンケート回答を呼びかけていきたいと思ひます。</p>
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>コロナウイルス感染症拡大防止のため保護者講座は中止しました。今年度は、広く市民を対象とした出会い・気づき・発見講座は行っておりませんが、地域のリーダーに向けたより専門的な内容の豊かなつながり創造講座を7回開催しました。直接会場に来て受講していただく従来の開催方法に加え、7回すべての講座についてオンライン(Zoom)でも受講できるように工夫をしました。会場でのアンケート回収率は91%ですが、オンラインでのアンケート回収率は30%でした。今後は、より受講者の声を反映していくためにも、アンケートの回答を呼びかけていきたいと思ひます。</p>	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D
------------	---	--

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	5	人権意識の向上

2. 具体施策の概要

具体施策	関係団体との連携・協働による市民への啓発活動の推進	
内容	市民一人ひとりが人権問題を正しく理解し、自分自身の課題としてとらえ、人権尊重の精神を日常生活に活かせるよう、さまざまな場で人権について考える機会を設けます。また各種団体と連携し、人権尊重の精神にあふれたまちづくりを進めます。	

3. 数値目標

内容(指標)	人権まちづくり懇談会で人権について話し合い、学ぶ活動への市民の参加人数
実績値(平成30年度)	1,648人
実績値(令和2年度)	869人
数値目標(令和3年度)	1,400人
実績値(令和3年度)	636人(令和4年3月15日現在)
数値目標(令和6年度)	1,800人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	役員向け説明会を開催(5か所)し、コロナ禍であっても、各区で少人数での実施を呼びかけています。8月27日から9月30日まで緊急事態宣言の対象地域となっているため、懇談会の延期をお願いしています。現在、実績報告書の提出はないため、参加人数は不明です。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	役員向け説明会を開催(5か所)し、コロナ禍であっても、各区で少人数での実施を呼びかけました。8月27日から9月30日まで緊急事態宣言の対象地域となったため、その間は懇談会の延期をお願いしました。以後も、懇談会の開催を企画していた区についても、令和3年度の後半に全国的にも新型コロナウイルス感染が急拡大したこともあり、開催を見送られた区もありました。※開催済ですが、実施報告書の提出が遅れ、現在も所管課に提出がされていない区もありますので、実績値はもう少し上振れする予定です。	A B C D
------------	---	----------------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	9	家庭の教育力を高める
施策	1	家庭の教育力の向上

2. 具体施策の概要

具体施策	ICTリテラシー教育の推進
内容	スマートフォンなど情報機器の正しい使い方が実践できる取組を、子どもたちへの実態調査・保護者への啓発と併せて実施し、「湖南省スマホ使用3ヶ条※」の浸透を図ります。また、PTA・学校・子どもとの連携を通じて、情報機器の「使用マナーの意識化、使用のルールづくり」をさらに進めます。

3. 数値目標

内容(指標)	教職員を対象としたICTリテラシー講座の開催
実績値(平成30年度)	小学校4校 中学校2校
実績値(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	全ての学校で今年度中の研修を予定しています。現在、小学校6校、中学校2校で実施済みです。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	全ての学校で研修を行いました。ICTを活用する上で、安全で正しい使い方ができるよう今後も進めていきます。	A B C D
------------	--	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	9	家庭の教育力を高める
施策	2	家庭教育を支援する人材育成

2. 具体施策の概要

具体施策	親育での場の提供と人材の育成
内容	各家庭で、親の自主的な判断に基づき家庭教育が行われるためには、子育てに関する親の不安や悩みを解消する場が必要なことから、悩みを抱える親が相談できる場づくりの充実に努めます。また、関係機関と連携し、子育てに関する学習機会や情報の提供に努めます。 さらに、社会全体で家庭教育を支える必要性が高まっていることから、助言や指導を行えるよう人材の育成に努めます。また、地域全体で子育てに対する意識の向上と輪の拡大に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	家庭教育講座の参加人数
実績値(平成30年度)	102人
実績値(令和2年度)	44人
数値目標(令和3年度)	60人 ※15人(家族)×4回
実績値(令和3年度)	84人
数値目標(令和6年度)	110人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	今年度は、夏休みに1回目～3回目を開催することができ、合計で延べ79人(29家族)が参加され、家庭で実践できるおもちゃ作りや運動について、親子で楽しく学べる機会を提供することができました。また、ステイホームにより、児童虐待が増加していることから、児童虐待防止法の改正内容や困ったときの相談場所について、保護者の方に学んでいただきました。 4回目については、まん延防止措置が発令されたことにより、10月26日に延期することとし、延期後の開催にあたっては、保護者のみの受講を予定しています。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	延期後に開催した4回目は5人が参加し、令和3年度は延べ84人が参加しました。家族での参加ができるように、土曜日開催の講座を2回実施したことで、お母さんだけでなく、お父さんにも家庭教育について学んでいただく機会提供ができました。	A B C D
------------	---	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	10	青少年の健全育成を図る
施策	1	青少年の交流と活動の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	青少年の体験活動の機会の充実と社会参加の促進
内容	各種青少年団体の育成支援と、青少年育成市民会議、学区民会議をはじめとする青少年に関わる各種団体への支援を通じて、体験活動の機会の充実に努めます。 また、青少年の活動の場がつけられるよう地域に働きかけを行い、子どもと地域住民との交流の機会を促進するとともに、青少年が社会や地域に参画する機会の提供に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	10代の青少年を対象とした事業の実施(「青春祭(あおはるさい)」など)
実績値(平成30年度)	実施
実績値(令和2年度)	体験事業 16件 子ども若者育成支援強調月間(11月)に合わせて、広報誌「育み」を8,000部発行
数値目標(令和3年度)	青春祭(あおはるさい)の実施
実績値(令和3年度)	実施
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	昨年度は、コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実行委員会議を開くことが難しく「青春祭(あおはるさい)」を中止しましたが、今年度は、実行委員会議を参集ではなくアンケート形式で実施することで、開催に向けた準備を進めています。 感染防止対策により来場者の制限を行いますが、「青春祭(あおはるさい)」開催後の広報誌「育み」にて、市内に広く周知・啓発を実施したいと思っております。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	11月28日(日)に石部文化ホールにて「17th青春祭(あおはるさい)2021」を開催し、170人の方が参加されました。今年度は、甲西中学校および石部中学校の生徒11人が実行委員となり、準備から当日の運営までを行いました。参集する実行委員会議を開くことが難しかったので、アンケート形式の実行委員会議にて準備を進めていきましたが、意思疎通の難しさなど課題がありました。今後も、青少年の日頃の活動成果を発表できる場として、継続していきたいと思っております。また、青少年5人がボランティアとして参加してくれたので、次年度以降も呼びかけをしたいです。	A B C D
------------	---	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	生涯学習課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	10	青少年の健全育成を図る
施策	2	青少年健全育成活動の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	関係機関と連携した活動実施と、課題をもつ少年の対策・居場所づくり
内容	<p>青少年育成市民会議・学区民会議をはじめとして地域住民の協力を得ながら、青少年にふさわしい環境づくりのために、地域で子どもを守り育てる輪の拡大に努めます。</p> <p>また、関係機関と連携し巡回活動を実施します。</p> <p>非行など課題のある少年については、生活改善や就学・就労対策を行う一方で、さまざまな問題を抱え、自分の居場所もなく悩み苦しんでいる少年が、自分自身を見つめ直して健やかな成長をしていくために、カウンセリング機会を設けるなどの支援を行います。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	無職少年の就労のための企業訪問の実施回数
実績値(平成30年度)	12回
実績値(令和2年度)	新型コロナウイルス感染拡大防止により企業訪問は中止。代替りとして、来所相談及び電話相談を129件受けました。
数値目標(令和3年度)	14回
実績値(令和3年度)	12回
数値目標(令和6年度)	20回

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>本年度当初より5名の少年の就労活動を支援してきました。2名は昨年度より正規就労し継続して見守っています。2名については新規アルバイト就労に結び付けました。しかし、コロナ禍により依然として企業活動は低調で、就労のための企業や関係機関への訪問も7回にとどまっています。下半期に、企業や関係機関と連携し支援を強化していきます。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>本年度当初より支援してきた5名の少年は、現在も離職することなく継続して就労しています。下半期には、コロナ禍にあってもサービス業種が訪問可能でしたので、関係機関の訪問も含め5回実施し、年間12回の訪問となりました。その他、無職少年などの就労や仕事に関する相談を約70件受けました。その成果もあり、次年度には新たに4名の支援を開始します。</p>	A B C D
------------	--	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 生涯学習課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	10	青少年の健全育成を図る
施策	2	青少年健全育成活動の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	関係機関と連携した活動実施と、課題をもつ少年の対策・居場所づくり	
内容	<p>青少年育成市民会議・学区民会議をはじめとして地域住民の協力を得ながら、青少年にふさわしい環境づくりのために、地域で子どもを守り育てる輪の拡大に努めます。</p> <p>また、関係機関と連携し巡回活動を実施します。</p> <p>非行など課題のある少年については、生活改善や就学・就労対策を行う一方で、さまざまな問題を抱え、自分の居場所もなく悩み苦しんでいる少年が、自分自身を見つめ直して健やかな成長をしていくために、カウンセリング機会を設けるなどの支援を行います。</p>	

3. 数値目標

内容(指標)	課題をもつ少年や家族との専任カウンセラーによるカウンセリング回数
実績値(平成30年度)	週1回
実績値(令和2年度)	23回
数値目標(令和3年度)	週1回
実績値(令和3年度)	51回
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>コロナ禍の前は相談件数が20%前後であった「しつけ・生活」が、本年度すでに30%を超えています。少年たちの生活に何らかの変化が生じているのではと心配されます。このような不安定な社会状況の中において、心理臨床担当職員によるカウンセリングが欠かせません。昨年度よりカウンセリング業務だけでなく、ブロック会議などにおいて専門的な立場から支援方針の検討に加わっていましたが、さらに本年度は、県あすくる支援総合コーディネーターの訪問を活用し、該当少年のカウンセリング支援に役立てています。</p>
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>今年度の相談内容のうち「しつけ・生活」が昨年度と比べ1.2倍に、「学校 学業」が1.1倍になっています。少年たち自身の生活や家族生活において、居場所づくりや相談活動の重要性が増えています。カウンセリング開設51回のうち心理臨床担当職員によるカウンセリング相談の回数は21回にのぼっています。また、カウンセリング業務だけでなく、心理臨床職員の専門性を発揮し、県あすくる支援総合コーディネーター訪問時の対応や支援方針の検討にも参加し、より効果的な支援の在り方を提言しました。</p>	A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D <input type="radio"/>
------------	--	--

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	11	信頼される学校を創る
施策	1	安全教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	安全教育の実施
内容	警察署などと連携し、小学生は横断歩道の渡り方、中学生は自転車の安全な乗り方を中心とした交通安全教室を実施します。 また、消防署などと連携して避難訓練を実施します。授業時間中に予告して行う定期的な訓練だけでなく、休み時間の訓練や保護者への引き渡し訓練など、さまざまなケースを想定し工夫をして訓練に取り組みます。 不審者に遭遇した際には、その場を離れる、近くの大人に助けを求めるといった対応が児童生徒に求められます。どのような場面においても自ら判断し対応できるよう、生徒指導担当を通して指導に取り組みます。
具体施策	通学路などの安全対策
内容	児童生徒が安心して通学できるために、通学経路の確認や見直しを定期的に行うことを促すと同時に、ボランティアや地域のさまざまな団体の協力を得ながら、児童生徒の登校中の見守り活動などの取組を推進します。 また、未就学児が日常的に集団で移動する経路についても同様に危険箇所を把握するため、湖南省通学路安全推進プログラムを見直し、健康福祉部幼児施設課についても組織の構成員とします。通学路などに関わる関係機関が連携し、通学路や未就園児の移動経路の危険箇所についての合同点検の実施、対策の検討をはじめとする取組を効果的に進めながら安全確保に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	消防署と学校防災教育コーディネーターが連携して行うモデル型避難訓練校の実施校数
実績値(平成30年度)	小中学校0校
実績値(令和2年度)	小中学校0校(新型コロナウイルス感染症の防止のため実施せず)
数値目標(令和3年度)	全小中学校13校
実績値(令和3年度)	小中学校8校
数値目標(令和6年度)	全小中学校13校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、消防署員に来ていただいた避難訓練は9月30日現在実施していません。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、消防署員に来ていただいた避難訓練は実施せず、各校で訓練を実施しました。また、実施計画や実施報告を消防署に提出することで、直接学校へ来ていただく前に連携をして助言をもらっている学校もありました。このコロナ禍にあって、できる取組みは十分にできました。	A B C D
------------	---	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	11	信頼される学校を創る
施策	1	安全教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	安全教育の実施
内容	警察署などと連携し、小学生は横断歩道の渡り方、中学生は自転車の安全な乗り方を中心とした交通安全教室を実施します。 また、消防署などと連携して避難訓練を実施します。授業時間中に予告して行う定期的な訓練だけでなく、休み時間の訓練や保護者への引き渡し訓練など、さまざまなケースを想定し工夫をして訓練に取り組みます。 不審者に遭遇した際には、その場を離れる、近くの人に助けを求めるといった対応が児童生徒に求められます。どのような場面においても自ら判断し対応できるよう、生徒指導担当を通して指導に取り組みます。
具体施策	通学路などの安全対策
内容	児童生徒が安心して通学できるために、通学経路の確認や見直しを定期的実施することを促すと同時に、ボランティアや地域のさまざまな団体の協力を得ながら、児童生徒の登校中の見守り活動などの取組を推進します。 また、未就学児が日常的に集団で移動する経路についても同様に危険箇所を把握するため、湖南省通学路安全推進プログラムを見直し、健康福祉部幼児施設課についても組織の構成員とします。通学路などに関わる関係機関が連携し、通学路や未就園児の移動経路の危険箇所についての合同点検の実施、対策の検討をはじめとする取組を効果的に進めながら安全確保に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	地域まちづくり協議会や保護者と連携して行う訓練
実績値(平成30年度)	小学校2校
実績値(令和2年度)	小学校2校
数値目標(令和3年度)	小学校4校
実績値(令和3年度)	小学校1校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、9月30日現在、地域まちづくり協議会や保護者と連携して行う訓練の実施はしていません。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保護者と連携しての引き渡し訓練については小学校1校での実施となりました。	A B C D
------------	---	----------------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	11	信頼される学校を創る
施策	1	安全教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	安全教育の実施
内容	警察署などと連携し、小学生は横断歩道の渡り方、中学生は自転車の安全な乗り方を中心とした交通安全教室を実施します。 また、消防署などと連携して避難訓練を実施します。授業時間中に予告して行う定期的な訓練だけでなく、休み時間の訓練や保護者への引き渡し訓練など、さまざまなケースを想定し工夫をして訓練に取り組みます。不審者に遭遇した際には、その場を離れる、近くの人に助けを求めるといった対応が児童生徒に求められます。どのような場面においても自ら判断し対応できるよう、生徒指導担当を通して指導に取り組みます。
具体施策	通学路などの安全対策
内容	児童生徒が安心して通学できるように、通学経路の確認や見直しを定期的実施することを促すと同時に、ボランティアや地域のさまざまな団体の協力を得ながら、児童生徒の登校中の見守り活動などの取組を推進します。 また、未就学児が日常的に集団で移動する経路についても同様に危険箇所を把握するため、湖南省通学路安全推進プログラムを見直し、健康福祉部幼児施設課についても組織の構成員とします。通学路などに関わる関係機関が連携し、通学路や未就園児の移動経路の危険箇所についての合同点検の実施、対策の検討をはじめとする取組を効果的に進めながら安全確保に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	通学路など危険箇所の合同点検箇所(累積)
実績値(平成30年度)	116か所
実績値(令和2年度)	157か所
数値目標(令和3年度)	187か所
実績値(令和3年度)	187か所
数値目標(令和6年度)	380か所

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	市内小中学校や園より報告された危険箇所について「通学路等安全推進会議」にて情報共有をしました。後日、通学路の危険箇所合同点検を3日間の日程で30か所実施しました。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	市内小中学校や園より報告された危険箇所について「通学路等安全推進会議」にて関係機関と情報共有をしました。また、甲賀警察署や県と市の担当部署、おうみ通学路交通アドバイザー、各校担当者と連携して予定していた通学路の合同点検を実施することができました。 (令和3年度実績 187か所【累計】)	A B C D
------------	--	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	11	信頼される学校を創る
施策	1	安全教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	安全教育の実施
内容	警察署などと連携し、小学生は横断歩道の渡り方、中学生は自転車の安全な乗り方を中心とした交通安全教室を実施します。 また、消防署などと連携して避難訓練を実施します。授業時間中に予告して行う定期的な訓練だけでなく、休み時間の訓練や保護者への引き渡し訓練など、さまざまなケースを想定し工夫をして訓練に取り組みます。不審者に遭遇した際には、その場を離れる、近くの大人に助けを求めるといった対応が児童生徒に求められます。どのような場面においても自ら判断し対応できるよう、生徒指導担当を通して指導に取り組みます。
具体施策	通学路などの安全対策
内容	児童生徒が安心して通学できるように、通学経路の確認や見直しを定期的実施することを促すと同時に、ボランティアや地域のさまざまな団体の協力を得ながら、児童生徒の登校中の見守り活動などの取組を推進します。 また、未就学児が日常的に集団で移動する経路についても同様に危険箇所を把握するため、湖南省通学路安全推進プログラムを見直し、健康福祉部幼児施設課についても組織の構成員とします。通学路などに関わる関係機関が連携し、通学路や未就園児の移動経路の危険箇所についての合同点検の実施、対策の検討をはじめとする取組を効果的に進めながら安全確保に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	通学路など危険箇所の対策実施箇所(累積)
実績値(平成30年度)	55か所
実績値(令和2年度)	81か所
数値目標(令和3年度)	101か所
実績値(令和3年度)	102か所
数値目標(令和6年度)	116か所

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、警察署と連携した交通安全教室は、9月30日現在実施していません。各校で、通学路における安全な登下校の仕方や自転車の乗り方について指導を行いました。通学路など危険箇所の対策実施箇所については、合同点検を通して各関係機関と協議中です。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	通学路など危険箇所の対策実施箇所については、通学路合同点検を通して各関係機関と協議を行った結果、令和3年度行った30か所の合同点検のうち21か所で対策の実施ができました。 (対策実施箇所102か所【累計】)	Ⓐ B C D
------------	--	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	11	信頼される学校を創る
施策	2	開かれた学校づくりの推進

2. 具体施策の概要

具体施策	絶えず地域へ情報発信する取組
内容	<p>各校の活動の様子は、定期的な校報やホームページ、タウンメール、プレスリリースなどによって積極的に発信するように努めます。また、保護者懇談会や学校運営協議会などを通じて、学校の現状や今後の活動を広報していきます。さらに、学校公開や地域を交えて実施する行事など、子どもたちの様子を伝えていきます。</p> <p>学校評価としては、定期的に自己評価・学校関係者評価を継続しながら、客観的な視点でも学校の教育活動を評価できるように努めます。</p> <p>各校では、「滋賀教育の日」の活動に賛同し、学校公開の場を設定しています。児童生徒への教育について、保護者や地域住民とともに考える場を継続して設けます。また、各校において新たな取組について模索します。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	学校公開日の実施校数
実績値(平成30年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和3年度)	継続
実績値(令和3年度)	継続
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>各校とも新型コロナウイルス感染症への対応等、ホームページ、校報、タウンメール等を通じて積極的に保護者や地域に向けて情報を発信してきました。また、CSの会議も開催しながら、修学旅行や運動会・体育祭、文化祭等の学校行事について保護者や地域の方々の意見も参考にしながら学校運営にたあたってきました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を適切に行いながら、工夫した形で学校行事等を行い、そのことをプレスリリース等を利用して発信することができています。</p>
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>各校とも新型コロナウイルス感染症への対応等、ホームページ、校報、タウンメール等を通じて積極的に保護者や地域に向けて情報を発信してきました。また、CSの会議も開催しながら、修学旅行や運動会・体育祭、文化祭等の学校行事について保護者や地域の方々の意見も参考にしながら学校運営にたあたってきました。コロナへの対応を継続しながら学習活動や部活動も工夫してすすめています。また、各校の特徴を生かした取組を中心に、積極的にプレスリリースがなされるようになっていきます。</p>	A (B) C D
------------	---	-----------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育総務課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	12	教育環境の充実を図る
施策	1	学校環境整備の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	学校施設的环境整備事業
内容	学校施設の整備は、地域の拠点としての役割を踏まえつつ、良好で質の高い教育環境を確保できるよう、バリアフリー化やユニバーサルデザインを推進しながらトイレの洋式化やICT環境整備など、学校施設の機能向上を図ります。
具体施策	効率的な施設改修の推進
内容	小中学校施設の老朽化が進んでおり、計画的な長寿命化改修と適切な維持管理をおこなうことが重要であることから、学校施設における長寿命化計画を策定し、将来的な学校のあり方も含め、限られた財源のなかで効率的に改修などができるよう取組を進めます。

3. 数値目標

内容(指標)	トイレ洋式化工事実施数
実績値(平成30年度)	0校
実績値(令和2年度)	0校
数値目標(令和3年度)	3校
実績値(令和3年度)	3校はトイレ洋式化率約70%になりました。 目標9校の内、残り6校のトイレ洋式化率は以下のとおりです。 石部南小学校34.0%、三雲小学校28.8%、菩提寺北小学校39.0%、下田小学校54.8%、石部中学校37.1%、甲西北中学校26.0%
数値目標(令和6年度)	9校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	今年度は、菩提寺小学校、三雲東小学校、日枝中学校のトイレ洋式化工事を実施しました。5月に入札を行い、6月3日で契約、夏休み期間を活用して集中的に工事を実施し、9月30日に工事完了しました。また、来年度の工事実施に向けて、三雲小学校、石部南小学校、甲西北中学校のトイレ洋式化工事設計業務を履行しているところです。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	3校のトイレ洋式化工事を完了しました。 三雲東小学校(トイレ洋式化率20.4%→67.4%) 改修前:和式43基・洋式11基、改修後:和式15基・洋式31基 菩提寺小学校(トイレ洋式化率26.1%→69.7%) 改修前:和式65基・洋式23基、改修後:和式23基・洋式53基 日枝中学校(トイレ洋式化率11.5%→67.9%) 改修前:和式54基・洋式7基、改修後:和式18基・洋式38基 次年度も3校のトイレ洋式化率約70%を基準として工事実施を予定しています。	A B C D
------------	---	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育総務課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	12	教育環境の充実を図る
施策	1	学校環境整備の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	学校施設的环境整備事業	
内容	学校施設の整備は、地域の拠点としての役割を踏まえつつ、良好で質の高い教育環境を確保できるよう、バリアフリー化やユニバーサルデザインを推進しながらトイレの洋式化やICT環境整備など、学校施設の機能向上を図ります。	
具体施策	効率的な施設改修の推進	
内容	小中学校施設の老朽化が進んでおり、計画的な長寿命化改修と適切な維持管理をおこなうことが重要であることから、学校施設における長寿命化計画を策定し、将来的な学校のあり方も含め、限られた財源のなかで効率的に改修などができるよう取組を進めます。	

3. 数値目標

内容(指標)	学校施設長寿命化計画の策定
実績値(平成30年度)	未策定
実績値(令和2年度)	策定
数値目標(令和3年度)	計画の実施
実績値(令和3年度)	策定
数値目標(令和6年度)	計画の見直し実施

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	令和3年3月に「湖南省公共施設等総合管理計画個別施設計画」を策定し、この計画に基づき、今年度は3校のトイレ洋式化工事を実施しました。次年度も計画に基づき取り組んでいく予定です。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	令和3年3月に「湖南省公共施設等総合管理計画個別施設計画」を策定し、この計画に基づき、今年度は3校(日枝中学校・三雲東小学校・菩提寺小学校)のトイレ洋式化工事を実施しました。次年度も計画に基づき、3校(甲西北中学校・石部南小学校・三雲小学校)のトイレ洋式化工事を実施する予定です。	A B C D
------------	--	---------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育総務課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	12	教育環境の充実を図る
施策	2	学校給食の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	学校給食の効率的な運営
内容	児童生徒に栄養バランスの採れた給食を提供するとともに、栄養士による食指導や調理内容の充実に取り組みます。 また、学校給食センターにおいて保育園・幼稚園・認定こども園、小学校低学年を対象にした見学会の開催や、卵アレルギー対応食の実施を引き続き行います。

3. 数値目標

内容(指標)	小中学校に提供する和え物献立の残食率
実績値(平成30年度)	小学校 10.6% 中学校 14.9%
実績値(令和2年度)	小学校14.6% 中学校22.4%
数値目標(令和3年度)	小学校12.8% 中学校17.8%
実績値(令和3年度)	小学校14.0% 中学校21.2%
数値目標(令和6年度)	小学校 10.4% 中学校 14.7%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	和え物の残食率平均(4月～7月実績)は小学校12.8%、中学校17.8%と昨年度の実績値を下回っています。今年度は食品ロス学習として、給食の残食をテーマにしたパワーポイント資料を作成し学校に提供しました。今後は各小学校での栄養士による食指導で、バランスの取れた栄養をしっかり取ることを伝え残食の低下に繋がります。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	和え物の残食率平均(4月～2月実績)は小学校14%、中学校21.2%と目標値におよびませんでした。数値目標に和え物の残食率を選んだのは、献立の中で和え物の残食率が高いため、栄養バランスの取れた給食を食べていただくために設定しました。残食をカロリーベースや金額で成果指標としてあげることも考えられますが、感覚的にわかりやすい残食量を元にした残食率を成果指標に設定しています。さらに、より適切な成果指標がないか検討します。今後も食育指導を継続するとともに、献立を工夫することにより残食の低下に努めて参ります。	A B C D
------------	--	----------------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	13	教職員の働き方改革を行い、教育の質的向上を図る
施策	1	教師力・組織的対応力アップへの取組

2. 具体施策の概要

具体施策	教員の資質と実践的指導力の向上
内容	<p>「講師は本市の教員が行う」、「自分のニーズに合った講座を選択する」をコンセプトに「教師力アップセミナー※」を夏季休業中に実施します。講師を務める教員は、得意分野で力を発揮できるだけでなく、自己の実践を整理・分析する機会をもつことができます。また、受講する者は身近にある優れた実践にふれるだけでなく、受講後も講師とつながることで積極的に授業実践を行うことができます。</p> <p>また、意欲と向上心をもった市内の若手、中堅教員対象の「湖南省現職アドバンス研修」を教員養成に実績のある東京学芸大学との連携で行います。ともに研修を受けることで、「授業力の向上」という同じ志をもつ仲間としてつながるだけでなく、学んだ授業改善の方策を自己の実践につなぐとともに、市内各校の研修成果を普及する一助となります。</p> <p>さらに、教員が学校や校種の枠を超えて、気軽に指導方法について相談できる「きょういげんき塾」は、塾生のニーズに合わせてテーマを設定し、先輩教員からの助言を通して主体的に学び合える場とします。</p>
具体施策	組織対応と関係機関との連携強化
内容	<p>園・学校や関係機関が、子どもや家庭を支える仕組みづくりをめざすために社会福祉士・スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーや、関係機関と連携したケースワークを行います。</p> <p>そのために、各課題に対して長期・短期目標、役割分担を明確にしたアセスメントを立て、無理や無駄のない運営に留意していきます。「アセスメントシート」、「湖南省発達支援ITネットワークの記録」を蓄積することにより、ケース担当者が替わっても支援体制を引き継いでいくシステムを確立していきます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	教員のニーズに合う多様な研修の開催(教師力アップセミナー)
実績値(平成30年度)	19講座
実績値(令和2年度)	14講座 のべ270人
数値目標(令和3年度)	14講座
実績値(令和3年度)	14講座 のべ305人
数値目標(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>16講座を予定していましたが、8月に滋賀県に緊急事態宣言が発出されることとなったため、2講座は中止とし、全部で14講座を実施しました。部活の夏季大会があり指導等で中学校からは参加しにくい状況もありましたが、市内教職員のべ305名の参加がありました。選択研修のため、自分の希望する講座に参加し、積極的に学ぶ教職員の姿が見られました。研修後のアンケート結果より、どのセミナーも教職員にとって学びの多い満足できる研修会だったことがうかがえました。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>コロナ対応を徹底し14講座を実施しました。「講師は本市の教員が行う」、「自分のニーズに合った講座を選択する」のコンセプトに沿って開催ができました。夏季休業中の部活指導等で中学校からは参加しにくい状況もありましたが、のべ約305名の参加がありました。研修後のアンケートから、受講者の満足度も高かったです。</p>	<p style="text-align: center;">(A) B C D</p>
------------	--	--

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	13	教職員の働き方改革を行い、教育の質的向上を図る
施策	1	教師力・組織的対応力アップへの取組

2. 具体施策の概要

具体施策	教員の資質と実践的指導力の向上
内容	<p>「講師は本市の教員が行う」、「自分のニーズに合った講座を選択する」をコンセプトに「教師力アップセミナー※」を夏季休業中に実施します。講師を務める教員は、得意分野で力を発揮できるだけでなく、自己の実践を整理・分析する機会をもつことができます。また、受講する者は身近にある優れた実践にふれるだけでなく、受講後も講師とつながることで積極的に授業実践を行うことができます。</p> <p>また、意欲と向上心をもった市内の若手、中堅教員対象の「湖南省現職アドバンス研修」を教員養成に実績のある東京学芸大学との連携で行います。ともに研修を受けることで、「授業力の向上」という同じ志をもつ仲間としてつながるだけでなく、学んだ授業改善の方策を自己の実践につなぐとともに、市内各校の研修成果を普及する一助となります。</p> <p>さらに、教員が学校や校種の枠を超えて、気軽に指導方法について相談できる「きょういくげんき塾」は、塾生のニーズに合わせてテーマを設定し、先輩教員からの助言を通して主体的に学び合える場とします。</p>
具体施策	組織対応と関係機関との連携強化
内容	<p>園・学校や関係機関が、子どもや家庭を支える仕組みづくりをめざすために社会福祉士・スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーや、関係機関と連携したケースワークを行います。</p> <p>そのために、各課題に対して長期・短期目標、役割分担を明確にしたアセスメントを立て、無理や無駄のない運営に留意していきます。「アセスメントシート」、「湖南省発達支援ITネットワークの記録」を蓄積することにより、ケース担当者が替わっても支援体制を引き継いでいくシステムを確立していきます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	市教委から各小中学校へ関係機関の活用促進・連携強化に伴う指導・働きかけ
実績値(平成30年度)	年間2回×13校
実績値(令和2年度)	年間2回×13校
数値目標(令和3年度)	年間2回×13校
実績値(令和3年度)	年間2回×13校
数値目標(令和6年度)	年間3回×13校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	4月には、全小中学校においてスクールソーシャルワーカーの活用促進のための学校訪問を実施しました。必要に応じて保健師・スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーや、関係機関と連携したケースワークを行いました。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>全小中学校においてスクールソーシャルワーカーの活用促進のための学校訪問を実施しました。</p> <p>学校教育課保健師が中心となり、スクールソーシャルワーカーと巡回相談員が連携しながらスムーズなケースワークができるよう、働きかけました。</p> <p>スクールソーシャルワーカーを全校配置し、連携の強化を図りました。</p>	A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D <input type="radio"/>
------------	---	--

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	13	教職員の働き方改革を行い、教育の質的向上を図る
施策	2	教職員の働き方改革の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	教員の働き方改革の推進
内容	各学校において業務の見直しを進め、地域や保護者の理解を得ながら、教員が子どもと向き合う時間の確保を図ります。また、教育の質を高めるための働き方改革を進めるため、外部講師を招き教員、保護者を対象とした「働き方改革研修会」を実施、全国の事例を聞きながら現状の課題を共有し、教員の意識改革に取り組みます。

3. 数値目標

内容(指標)	学校支援員の配置
実績値(平成30年度)	60人
実績値(令和2年度)	76人
数値目標(令和3年度)	70人
実績値(令和3年度)	87人
数値目標(令和6年度)	70人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	コロナウイルス感染症対策への対応のあり、配置人数は現在80人となっています。当初予定の時数分の配置ができています。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	県費負担教職員への任用替え等により途中減少しましたが、最終的には、ほぼ当初予定の人数を確保して配置することができました。次年度についても人材の確保を図りながら、各校へ学習支援員の配置をすすめます。	A (B) C D
------------	--	-----------

令和3年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	13	教職員の働き方改革を行い、教育の質的向上を図る
施策	2	教職員の働き方改革の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	教員の働き方改革の推進
内容	各学校において業務の見直しを進め、地域や保護者の理解を得ながら、教員が子どもと向き合う時間の確保を図ります。また、教育の質を高めるための働き方改革を進めるため、外部講師を招き教員、保護者を対象とした「働き方改革研修会」を実施、全国の事例を聞きながら現状の課題を共有し、教員の意識改革に取り組みます。

3. 数値目標

内容(指標)	部活動指導員の配置
実績値(平成30年度)	4人
実績値(令和2年度)	5人
数値目標(令和3年度)	6人
実績値(令和3年度)	8人
数値目標(令和6年度)	8人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	各校2人の募集をしましたが、1人配置の学校が2校、2人配置の学校が2校となっています。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	令和3年度は、予定通り8名の配置ができました。今後は、体育系の部活動だけでなく、文科系の部活動においても部活動指導員の配置を進めたいと考えています。しかしながら、各校においては、人材の確保に苦労している状況があり、学校での部活動の在り方を十分に理解していただいた指導者の確保をいかに進めていくか課題です。	A (B) C D
------------	--	-----------